I-O DATA

# SC-NBDシリーズ

# 取扱説明書

このたびは、PCI／Low Profile PCI両用インターフェイスボード「SC-NBDシリーズ」（PC98-NXシリーズ・DOS/Vマシン及びPC-9821シリーズ用）をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

本製品のパッケージの中に「安全で快適にお使いいただくために」という小冊子が入っています。本製品を末長くご使用いただくためにも、その小冊子を必ずお読みになり、書かれていることをお守りください。

77843-01

## 【本書での表記】

| 呼び方 | 意　味 |
|---|---|
| SC-NBDシリーズ | SC-NBDおよびSC-NBDAの総称 |
| Windows98 | Microsoft® Windows®98 Operating System、および<br>Microsoft® Windows®98 Operating System Second Edition |
| Windows95 | Microsoft® Windows®95 Operating System |
| Windows98/95 | Windows98およびWindows95の総称 |
| Windows2000 | Microsoft® Windows®2000 Professional,ServerおよびAdvanced Server |
| WindowsNT4.0 | Microsoft® WindowsNT® Operating System Version4.0 |
| WindowsNT3.51 | Microsoft® WindowsNT® Operating System Version3.51 |
| WindowsNT | WindowsNT4.0およびWindowsNT3.51の総称 |
| Windows | Windows98/95、Windows2000およびWindowsNTの総称 |

## 【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
7) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
8) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
9) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
10) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is only suitable for use in Japan. We shall have no liability for any damages arising from the use or inability to use this product in other countries. We neither provide any technical support and/or after-service for the use of this product abroad.)
12) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
13) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
14) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。


- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windows,WindowsNT,MS,MS-DOSは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

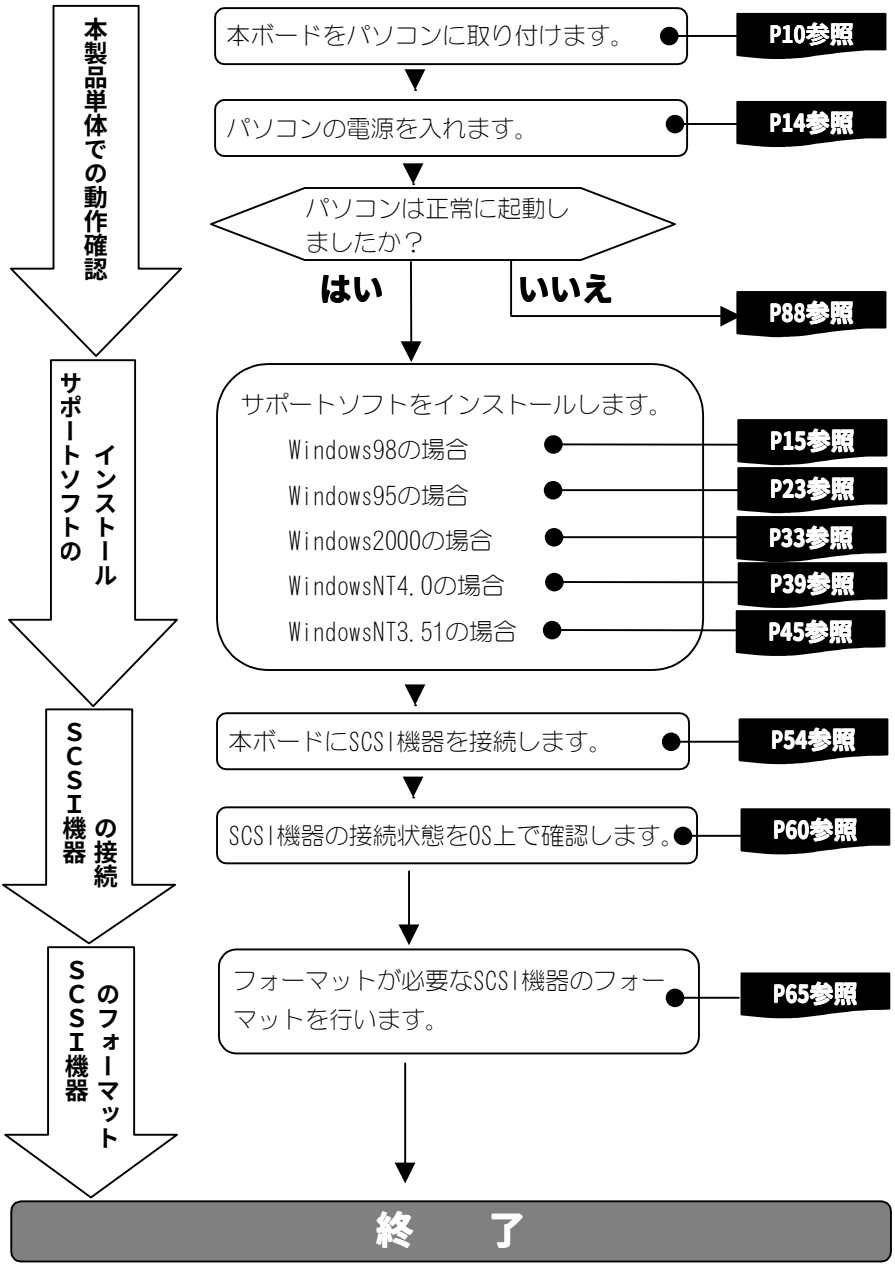
SC-NBDシリーズ 取扱説明書
2000.Aug.08 77843-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町３丁目１０番地

© 2000 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

ここにＶｅｒシールをお貼りください

Ｖｅｒシール

# SCSI機器が使用できるまでの流れ



# もくじ

SCSI機器が使用できるまでの流れ..... i
もくじ..... ii
ＡＡＡ保証について..... vii

## ご使用になる前に

**箱の中には** ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
**特徴** ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
**ユーザー登録** ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
**サポートソフトのバックアップ** ・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
**対応しているパソコンの機種とＯＳ** ・・・・・・・・・・・・・ 6
**動作確認済みのスキャナ** ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

## 1　パソコンに取り付けよう

**ステップ１　本ボードをパソコンに取り付ける** ・・・ １０
**Low Profile PCI搭載パソコンに取り付ける場合** １０
**パソコンへの取り付けの準備をする** ・・ １１
**パソコンに本ボードを取り付ける** ・・・ １２
**ステップ２　パソコンが正常に起動するか確認しよう** １４

# 2　インストールしよう


## ① Windows98の場合　１５

ステップ１　Windows98へインストールする・・・・・　１６
ステップ２　インストール状態を確認する・・・・・・　１９
　　インストール状態の確認方法・・・・・　１９

## ② Windows95の場合　２３

ステップ１　Windows95へインストールする・・・・・　２４
ステップ２　インストール状態を確認する・・・・・・　３０
　　インストール状態の確認方法・・・・・　３０

## ③ Windows2000の場合　３３

ステップ１　Windows2000へインストールする・・・・　３４
ステップ２　インストール状態を確認する・・・・・・　３７
　　インストール状態の確認方法・・・・・　３７

## ④ WindowsNT4.0の場合　３９

ステップ１　WindowsNT4.0へインストールする・・・　４０
ステップ２　インストール状態を確認する・・・・・・　４３
　　インストール状態の確認方法・・・・・　４３

## ⑤ WindowsNT3.51の場合　４５

ステップ１　WindowsNT3.51へインストールする・・・　４６

## 3　SCSI機器を接続しよう


ステップ１　SCSI機器接続前のチェック・・・・・・・・ 50
ステップ２　それではSCSI機器を接続しよう・・・・・ 54
内蔵SCSI機器を接続する・・・・・・・・ 54
外付SCSI機器を接続する・・・・・・・・ 56
内蔵および外付SCSI機器両方を接続する場合・・ 59
ステップ３　SCSI機器が使用できるか確認しよう・・ 60
「ASPI接続ビューア」をインストールする 61
「ASPI接続ビューア」でSCSI機器を確認する・ 62


## 4　SCSI機器をフォーマットする場合


ステップ１　フォーマット手順の概要・・・・・・・・ 66
ステップ２　① Windows98/95でのフォーマット方法・ 67
ハードディスクのフォーマット方法・・ 67
その他（MO、PD、ZIP等）のフォーマット方法・・ 67
② Windows2000でのフォーマット方法 81
③ WindowsNTでのフォーマット方法・ 82

補足１　ハードディスクの１パーティションの最大容量・・・・・ 83
パーティションについて・・・・・・・ 83
１パーティションの最大容量・・・・・ 84

付 録１　困ったときには……８５
パソコンに取り付け時のトラブル・・・・・・・・ ８８
インストール時のトラブル・・・・・・・・・・・ ８９
(Windows98/95・Windows2000の場合)
インストール後のトラブル・・・・・・・・・・・ ８９
(Windows98/95・Windows2000の場合)
インストール後のトラブル(WindowsNTの場合)・・・ ９０
SCSI機器使用時のトラブル・・・・・・・・・・・ ９１
「ASPI接続ビューア」使用時のトラブル・・・・・ ９３
「ASPIFORM」使用時のトラブル・・・・・・・・・ ９３
特定のパソコンでのトラブル・・・・・・・・・・ ９３
その他のトラブル・・・・・・・・・・・・・・・ ９４
参考１　！マークがある場合の対処方法・・・・・・・・・ ９５
(Windows98/95・Windows2000の場合)
参考２　割り込みの空きを作るには・・・・・・・・・・・ ９８
Windows98/95で割り込み(IRQ)の空きを
確認する方法・・ ９９
参考３　プラグ＆プレイに対応していないボードと
一緒に使用する場合 １００
参考４　ドライバソフトをアップデート(更新)するには １０１
Windows98でのドライバのアップデート方法・・ １０２
Windows95でのドライバのアップデート方法・・ １０５
Windows2000でのドライバのアップデート方法・ １１２
WindowsNT4.0でのドライバのアップデート方法・ １１３
参考５　「その他のデバイス」として登録された場合
の対処方法(Windows98/95の場合) １１４
Windows98での「その他のデバイス」の対処方法 １１５
Windows95での「その他のデバイス」の対処方法 １１６
参考６　「SCSIコントローラ」として登録された場合
の対処方法(Windows2000の場合) １２２

**付 録2　設定ユーティリティ……１２３**

**付 録3　Windows2000のインストール ……１３０**

**起動ディスクを使って新規インストールする場合**　１３１
**Windows98/95/NT4.0上から**
**新規インストールする場合**　１３５
**Windows98/95からアップグレード**
**インストールする場合**　１３６
**WindowsNT4.0からアップグレード**
**インストールする場合**　１４０

**付 録4　ASPIマネージャのインストール……１４５**
**(Windows2000、WindowsNT4.0)**

**付 録5　仕様……１４６**
**仕様**　１４６
**各部の名称・機能**　１４７

サポートセンターへのお問い合わせ……１４８
サポートソフトのバージョンアップ……１４９
オプション品について……１５０
保証について……１５１
修理について……１５２

# 「ＡＡＡ保証（トリプルエー）」について

本製品は、「ＡＡＡ保証」対象製品です。
「ＡＡＡ保証」では以下のサービスをお受けいただけます。

**※一部対応外のパソコンがあります。詳細については、弊社カタログ、ホームページでご確認ください。**

## 安心その１　５年間のロングラン保証

■従来の「１年間保証」から、ハードウェア保証期間を『５年間』に大幅延長。これまで以上に末永く安心してご使用いただけます。
■保証期間は弊社製造日より5年間です。
■弊社製各種 SCSI ドライブとのセット品をお買い上げの場合は、SCSI インターフェイスのみ「５年間保証」の対象となります。SCSI ドライブは従来通り「１年間保証」です。
※将来の新ＯＳ、アプリケーションなどでの動作を保証するものではありません。
※詳しくは「ハードウェア保証書」をご覧ください。

## 安心その２　ＳＣＳＩホッとダイヤル

■ユーザー様のさまざまなご質問・トラブルに対して、SCSI専門のスタッフによる調査、的確な回答で素早い解決に努めています。お気軽にお問い合わせください。

| ＳＣＳＩホッとダイヤル（ＳＣＳＩ専用サポートダイヤル） | |
|---|---|
| 本社（第２ビル） | **TEL:076-260-3367/FAX:076-260-3360** |
| 東京 | **TEL:03-3254-0340/FAX:03-3254-9055** |
| 電話受付 | 祝祭日を除く月～金曜日　9:30～19:00 |

※「SCSI ホッとダイヤル」は弊社 SCSI 関連製品専用のサポートダイヤルです。その他のご質問にはお答えできませんので、ご了承ください。

## 安心その３　SCSIインターフェイス・ペイバックシステム

■「SCSI インターフェイス・ペイバックシステム」では万が一、弊社 SCSI インターフェイス製品ご購入後、1ケ月以内に不具合が発生し、弊社において技術的に解決できなかった場合は、SCSI インターフェイスのご購入代金をご返金いたします。
※「SCSI インターフェイス・ペイバックシステム」に関して、手続きなどの詳細は、上記「SCSI ホッとダイヤル」にてご確認いただけます。

MEMO

# ご使用になる前に

この章では、本製品をご使用になる上で必要となる事項を説明しますので、
最初に必ずお読みください。

# 箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。（製品名により中身は異なります。）

**注意**

**万が一、不足がございましたら弊社サポートセンターまでお知らせください。**
**※お願い：箱･梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご利用ください。**

ご使用の環境に合わせて、必要な場合は巻末のオプション品を別途お求めください。（【● オプション品について】(P150)参照）

| 内容物 | 個数 | SC-NBDA | SC-NBD | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| SCSIボード | 1枚 | ○ | ○ | SC-NBD |
| SC-NBシリーズサポートソフト | 1枚 | ○ | ○ | 3.5ｲﾝﾁ2HD (1.44MB) |
| 取扱説明書 | 1冊 | ○ | ○ | 本書 |
| Verシール | 1枚 | ○ | ○ | |
| ハードウェア保証書 | 1枚 | ○ | ○ | 5年間保証 |
| ハードウェアシリアル No.シール | 1枚 | ○ | ○ | |
| ユーザー登録カード | 1枚 | ○ | ○ | |
| SCSIケーブル （D-subﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ ⇔D-subﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ） | 1本 | ○ | ― | 75cm (A50-A50) |
| Low Profile PCI用取付金具 | 1個 | ○ | ○ | |
| 安全で快適にお使い いただくために | 1冊 | ○ | ○ | |

# 特徴

本ボードはPCI／Low Profile PCI両用Ultra SCSIインターフェイスボードです。

本ボードには、以下の特徴があります。

## ◆「Low Profile PCI」を搭載した省スペース型パソコンにも対応！

Low Profile PCIとは……

取付金具の高さが従来より約４cm低くなった新しいPCIボードの規格で、省スペース型パソコンの拡張性の向上などを目的に採用されています。

サイズは小さくなりましたが、電圧やバス幅などの基本的性能は全く変わりません。

## ◆BIOS非搭載

本ボードはBIOSを搭載していません。

**注意**

**本ボードは、BIOSを搭載していませんので、接続機器からのシステム起動はできません。**

## ◆スキャナはもちろん、CD-Rドライブ、MOドライブ等の接続に最適！

「WinASPI」の標準添付により、スキャナ接続の際、別途ASPIマネージャが必要となる環境でも安心接続。

P8の【動作確認済みのスキャナ】をご確認ください。

## ◆バスマスタ転送方式採用により、CPUにかかる負担を軽減

## ◆Plug&Play対応

## ◆最大7台までのSCSI機器を接続可能

## ◆SCSI機器の接続状況を監視し、ボード上のターミネータを自動制御するオートターミネーション機構

## ◆最大同期転送速度、ディスコネクト許可を各SCSI機器毎に設定可能

# ユーザー登録

弊社では、サポートセンターで「サポートソフト」のバージョンアップサービスなどを行っていますが、これらのサービスはユーザー登録を行った方のみが対象となります。
お買い上げいただいた製品ごとに以下の手順で必ず登録を行ってください。

## 1 添付のVerシールを貼ってください。

ユーザー登録カード、「サポートソフト」ディスクの「Verシール」と書かれている欄、本書の巻末に貼ってください。

## 2 添付のハードウェアシリアルNo.シールを貼ってください。

ユーザー登録カード、ハードウェア保証書に貼ってください。

## 3 ●オンライン登録する場合（ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ http://www.iodata.co.jp/）

インターネットに接続できる環境をお持ちの場合はこちらでユーザー登録を行ってください。

I-O DATA ホームページに「オンライン・ユーザー登録」ボタンが用意されています。このボタンをクリックするとオンライン登録の案内が表示されますので、画面の表示にしたがって必要事項を記入して、ユーザー登録を行ってください。

オンライン・ユーザー登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

### ●ハガキで登録する場合

ユーザ登録カードに必要事項をご記入の上、弊社まで必ずご返送ください。

**注意**

**ユーザー登録の際、必要事項の入力もれ（ユーザー登録カードの場合は、必要事項の記入漏れやシールの貼り忘れ等）があった場合は、ユーザー登録できませんので、必ずご確認ください。**

# サポートソフトのバックアップ

本製品に添付されている「サポートソフト」ディスクは必ずバックアップを取り、バックアップディスクの方をご使用ください。

**1** **1.44MBでフォーマット済みの空きフロッピーディスク(3.5インチ2HD)を用意します。**

**2** **「サポートソフト」ディスクを書き込み禁止にします。**

**3** **Windows98/95,Windows2000,WindowsNT4.0の場合**

「ﾏｲ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ」の「3.5ｲﾝﾁ FD」を右クリックし「ﾃﾞｨｽｸのｺﾋﾟｰ」を選択します。

Windows95の例)




**WindowsNT3.51の場合**

MS-DOSのコマンド入力状態で DISKCOPY コマンドを実行します。

```
C:¥>diskcopy a: a:↵
```

（フロッピーディスクドライブがAドライブの場合）

**4** **「サポートソフト」ディスクと空きフロッピーディスクをメッセージにしたがって入れ替えながら、バックアップを取ります。**

**注意**

**「サポートソフト」ディスクを破損した場合の修理は有償です。**
**必ずバックアップをとり、「サポートソフト」ディスクは大切に保管してください。**

# 対応しているパソコンの機種とＯＳ

## 対応機種

| | |
|---|---|
| PC98-NXシリーズ | PCIバススロットを搭載した機種 |
| DOS/Vマシン※1 | ・PCI Revision 2.0、2.1または2.2に準拠したPCIバススロットを搭載し、CPUにi486以上を搭載した機種<br>・Low Profile PCIを搭載した機種 |
| PC-9821シリーズ | PCIバススロットを搭載した機種 |

**※1 弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認を行っています。**

**注意**

**一部対応外のパソコンがあります。**
**詳細については、弊社カタログ、ホームページでご確認ください。**

## 対応ＯＳ

| | |
|---|---|
| PC98-NXシリーズ | 日本語Windows98（Second Editionを含む）<br>日本語Windows95<br>日本語Windows2000<br>日本語WindowsNT4.0 |
| DOS/Vマシン | 日本語Windows98（Second Editionを含む）<br>日本語Windows95<br>日本語Windows2000<br>日本語WindowsNT4.0/3.51 |
| PC-9821シリーズ | 日本語Windows98（Second Editionを含む）<br>日本語Windows95<br>日本語Windows2000<br>日本語WindowsNT4.0/3.51 |

**注意**

**1)接続機器からの起動はできません。**
**本ボードは、SCSI BIOSを搭載していないため、本ボードに接続したSCSI機器からパソコンを起動することはできません。**

**2)SCSIインターフェイス（ボード）の同時に使用できる枚数について**

| | PC98-NXｼﾘｰｽﾞおよびDOS/Vﾏｼﾝ | PC-9821ｼﾘｰｽﾞ |
|---|---|---|
| Windows98/95 | １枚のみ※1 | |
| Windows2000<br>WindowsNT<br>Windows3.1<br>MS-DOS(PC DOS) | 最大４枚まで | 最大２枚まで |

**※1 Widows98/95では、他のSCSIインターフェイス（ボード）との併用もできません。（パソコン本体に１枚のみしかSCSIインターフェイス（ボード）は使用できません。）**

**3)本ボードは、プラグアンドプレイ対応ボードのため、リソースはすべてパソコン本体側で割り振られます。そのため、本ボードで割り込み（IRQ）の指定はできません。**

**4)Windows98およびWindows2000のACPI規格には対応しておりません。**
**従って、本製品を取り付けた状態では、スタンバイ機能を使用しないでください。**

**5)弊社製リムーバブルハードディスク「RM-SQ270」は本製品では使用できません。**

# 動作確認済みのスキャナ

（平成１２年８月現在）

| メーカー | スキャナ | Windows98/95 | WindowsNT4.0 |
|---|---|---|---|
| EPSON | FS-1200WINS※1 | ○ | ○ |
| | FS-1300WINS※1 | ○ | ○ |
| | GT-2000WINS | ○ | —※2 |
| | GT-2200WINS | ○ | ○ |
| | GT-5000WINS | ○ | ○ |
| | GT-5500WINS | ○ | ○ |
| | GT-7000WINS | ○ | ○ |
| | GT-7000S | ○ | ○ |
| | GT-7600S | ○ | ○ |
| | GT-9600 | ○ | ○ |
| | ES-8000 | ○ | ○ |
| Canon | CanoScan300 | ○ | ○ |
| | CanoScan600 | ○ | ○※4 |
| | CanoScan2700F※3 | ○ | ○※4 |
| | CanoScanFB620S※1 | ○ | ○※4 |
| | CanoScanFS2710 | ○ | ○※4 |
| SHARP | JX-250シリーズ※1 | ○ | ○ |
| | JX-350W※1 | ○ | ○ |
| | JX-370 | ○ | ○※4 |
| HP | PhotoSmart※1 | ○ | —※2 |
| NEOS | VUEGO SCAN 610Plus | ○ | ○ |
| Nikon | COOLSCANⅡ(LS-20E) | ○ | ○ |
| | COOLSCANⅢ(LS-30) | ○ | ○※4 |
| NEC | MultiReader300S2(PC-IN700/3S2) | ○ | —※2 |
| | MultiReader400(PC-IN700/4CR) | ○ | —※2 |
| | MultiReader600SR(PC-IN700/6SR) | ○ | ○ |
| Microtek | ScanMaker V310 | ○ | ○ |
| | ScanMaker V600 | ○ | ○ |
| | ScanMaker E3 | ○ | ○ |
| | ScanMaker E6 | ○ | ○ |
| | ScanMaker X6 | ○ | ○ |
| | ScanMaker 6400XL | ○ | ○ |
| | ScanMaker 9600XL | ○ | ○ |
| | ScanMaker 35t plus | ○ | ○ |

**※1 本ボードに接続後、同期転送の設定を「非同期転送」（同期転送をしない）に設定する必要があります。（【付録２】(P123)参照）**

**※2 スキャナ本体が未対応です。**

**※3 Windows2000では対応外となります。**

**※4 本ボードに接続し、【④ WindowsNT4.0の場合】(P39)でドライバソフトをインストール後、さらに【付録４ ASPIマネージャのインストール】(P145)でASPIマネージャのインストールについてご確認ください。**

**参考** 最新の対応情報は弊社カタログ、ホームページにてご確認ください。
（Windows2000環境では、現在未確認です。追って動作確認を行っていきます。）

# 1 パソコンに取り付けよう

**この章では、本ボードをパソコンに取り付ける手順について説明します。**

ステップ1

**本ボードをパソコンに取り付ける**

本ボードをパソコンに取り付けます。(P10)

▼

ステップ2

**パソコンが正常に起動するか確認しよう**

本ボード取り付け後に、パソコンが正常に起動するか確認してください。(P14)

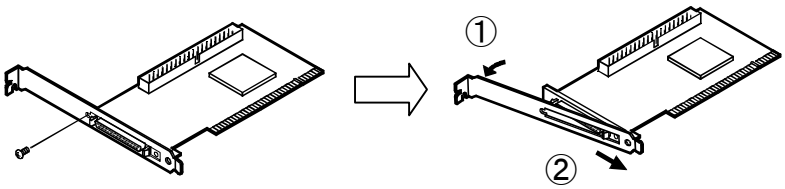
ステップ 1

# 本ボードをパソコンに取り付ける

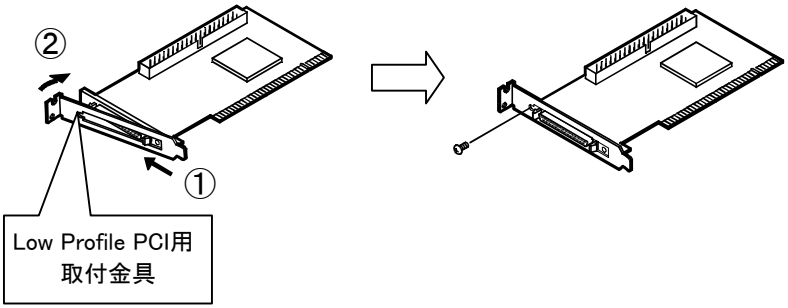
## Low Profile PCI搭載パソコンに取り付ける場合

本製品を Low Profile PCI 搭載パソコンに取り付ける場合は、添付の「Low Profile PCI 用取付金具」を取り付けてください。

1. 本ボードの取り付け金具を取り外します。
   プラスドライバ等を使ってネジを取り外し、一度、金具を斜めにしてから、横に取り外します。

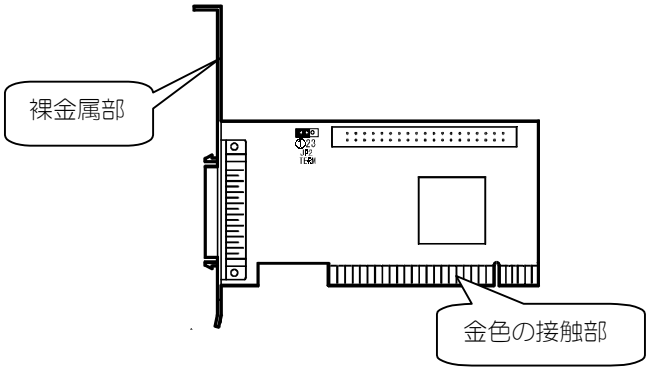



2. 添付の「Low Profile PCI 用取付金具」を斜めにして金具をボードに引っ掛けて取り付け、ネジ止めしてください。



# パソコンへの取り付けの準備をする

1. パソコンの電源を切り、電源ケーブルを抜きます。
2. パソコンの取扱説明書をご参照になり、パソコンケースを開けます。
3. パソコン本体および本ボードの裸金属部に触れて、静電気を逃がします。




4. 取り付ける PCI バススロット（パソコンのマザーボード上の白いソケット：P13 図参照）を決め、スロットカバーを外します。



## 取り付けのヒント

PCI バススロットの位置はお使いのパソコンによって異なります。パソコンの取扱説明書をご参照ください。

# パソコンに本ボードを取り付ける

パソコンに本ボードを取り付けます。（次ページ図も参照してください。）



## 取り付けのヒント

PCI バススロット（パソコンのマザーボード上の白いソケット）の位置はお使いのパソコンによって異なります。パソコンの取扱説明書をご参照ください。

1. SCSI ボードを PCI バススロットに合わせて、外付用コネクタがパソコンの背面になるような向きで挿入します。
2. PCI バススロットに、本ボードの金色の接触部を水平になるように挿入します。
   相当の力が必要な場合がありますが、水平に挿入されていることを確認してから、力を入れてください。
3. 挿入したら、パソコンのスロット用のネジで、本ボードを固定します。
4. 取り外した電源ケーブルやパソコンのカバーを元に戻します。

**ボードが入らない場合は…** **P88参照**

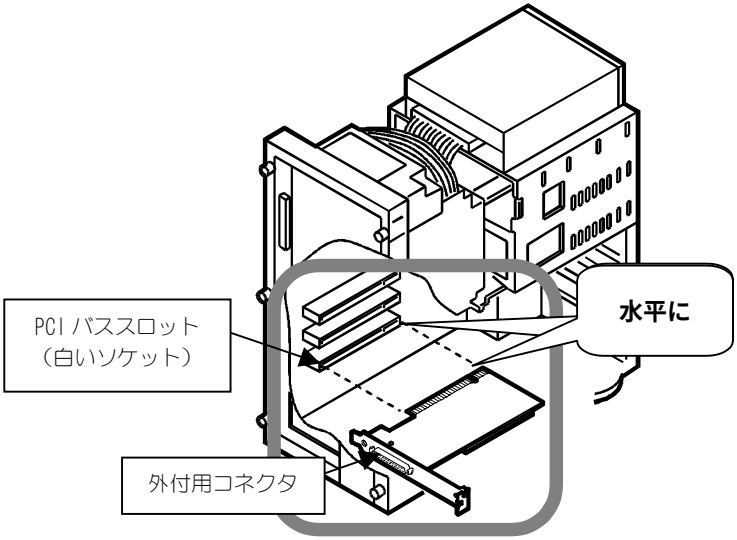


## 取り付け後のチェック

PCI バススロットに、本ボードの**金色の接触部（前ページ図参照）がきちんと入っている**か確認してください。

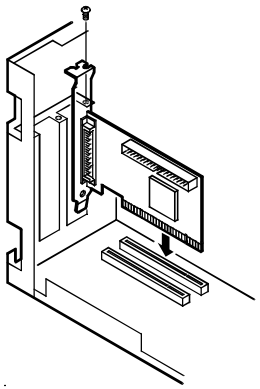
**以上で取り付けは終了です。**
**【ステップ２】(P14)へお進みください。**

## 《取り付け図》




**参考**

**パソコンによっては、本ボードを下に向けて取り付ける場合もあります。**



# ステップ２　パソコンが正常に起動するか確認しよう

まずはお使いのパソコンが正常に起動するかを確認しましょう。

**1** **本ボードをパソコンに取り付けたら、パソコンの電源を入れ、パソコンが正常に起動するか確認してください。**

**Windows98もしくはWindows95のロゴ表示のところで止まる場合は…** → **P88参照**

**2** **正常に起動した場合、次に各ＯＳ毎に「サポートソフト」のインストールが必要です。**
**以下の該当個所へお進みください。**


**Windows98をお使いの場合** → **P15へ**

**Windows95をお使いの場合** → **P23へ**

**Windows2000をお使いの場合** → **P33へ**

**WindowsNT4.0をお使いの場合** → **P39へ**

**WindowsNT3.51をお使いの場合** → **P45へ**

# 2

# インストールしよう

# (①Windows98の場合)

**この章では、既にWindows98がインストールされている
パソコンに、本ボードを取り付けた場合に必要となる
ドライバのインストール手順について説明します。**

**注意**

1)SCSI機器の接続は【3 SCSI機器を接続しよう】(P49)にて行います。
2)Windows98のACPI規格には対応しておりません。
従って、本製品を取り付けた状態では、スタンバイ機能を使用しないでください。

ステップ1

## Windows98へインストールする

本ボードを使用するために必要なソフトウェアをサポートソフトからインストールします。(P16)

▼

ステップ2

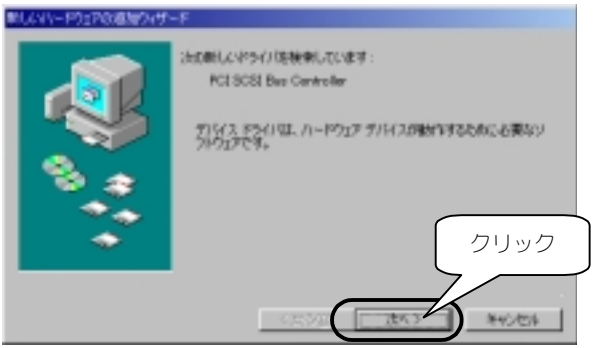
## インストール状態を確認する

本ボードが正常に使用できるか確認します。(P19)

# ステップ1 Windows98へインストールする

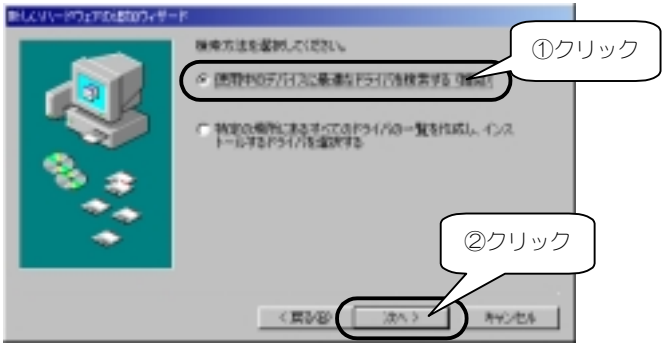
**1** パソコンの電源を入れ、パソコンを起動します。

**2** 以下の画面が表示されます。
［次へ］をクリックします。

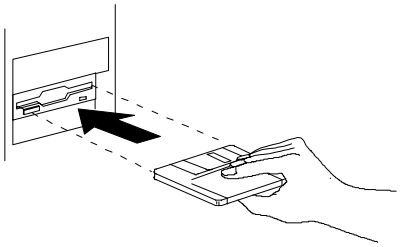



**上記の画面が表示されない場合は…** **P89参照**

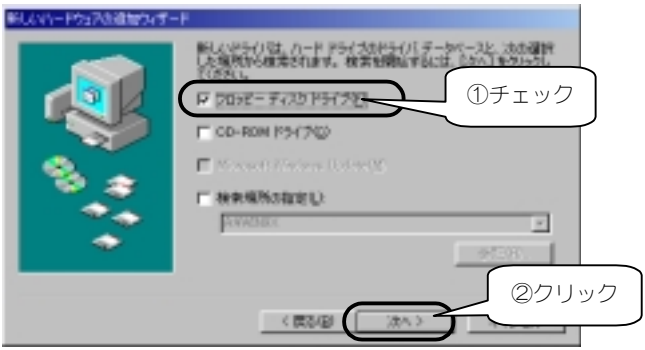
**3** 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」をクリックし、［次へ］をクリックします。



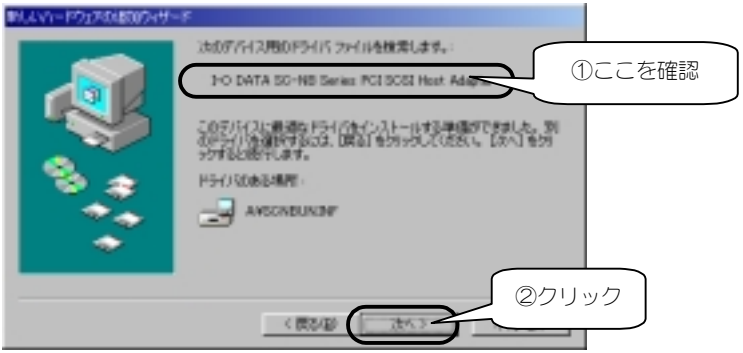
**4** 「サポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入します。



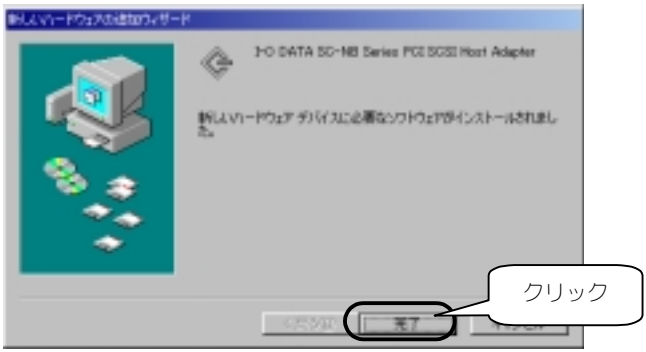
**5** 「フロッピーディスクドライブ」のみをチェックし、続けて[次へ]をクリックします。



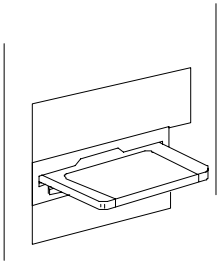

**6** 「I-O DATA SC-NB Series PCI SCSI Host Adapter」と表示されていることを確認後、［次へ］をクリックします。



**7** ［完了］をクリックします。

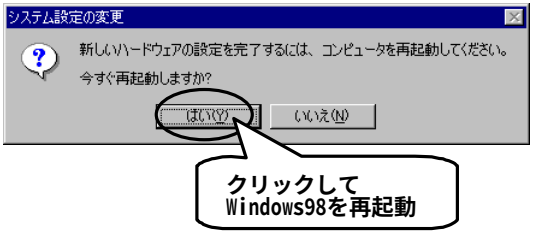



**8** フロッピーディスクドライブから「サポートソフト」ディスクを抜きます。



**9** ［はい］をクリックします。

※以下の画面が表示されなかった場合は、
『スタート』→「Windowsの終了」で必ず再起動を行ってください。




以上でインストールは終了です。

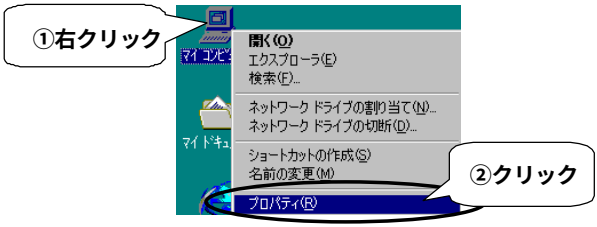
再起動後、【ステップ２】(次ページ)へお進みください。

# ステップ2　インストール状態を確認する

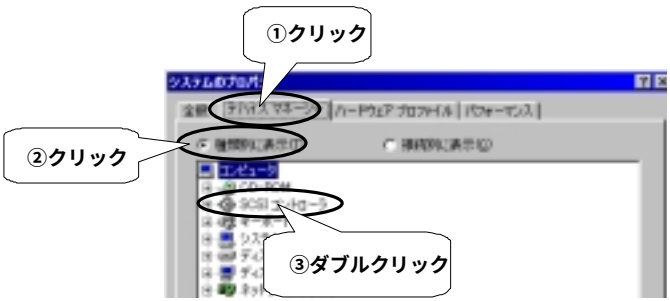
「サポートソフト」が正常にインストールされたかを必ず確認しましょう。
正常にインストールされていないとSCSI機器が使用できません。

## インストール状態の確認方法

**1** **『マイコンピュータ』を右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。**




**2** **「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「種類別に表示」での「SCSIコントローラ」をダブルクリックします。**




**PC98-NXシリーズをお使いで「デバイスマネージャ」タブが表示されない場合**

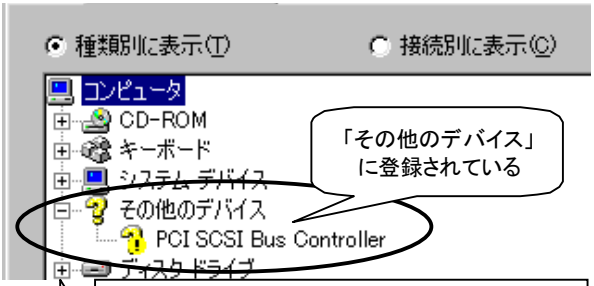
1. ［スタート］→［プログラム］→［Cyber Trio-NX］（［NXユーティリティ］または［NXの設定］）→［Cyber Trio-NXｾｯﾄｱｯﾌﾟ］を選択します。
2. ［アドバンスモード］にチェックし、Windowsを再起動します。
3. 再度手順の **1** から行います。

**「SCSIコントローラ」の表示がない場合は…**

以下のいずれかが考えられます。

**パターン①　「その他のデバイス」として登録されている場合**

（「その他のデバイス」の下に「PCI SCSI Bus Controller」と表示されている場合）




**【参考５】(P114)を参照してください。**

**パターン②　どこにも登録（表示）されていない場合**

（「SCSIコントローラ」および「その他のデバイス」のどちらの表示も無い場合）

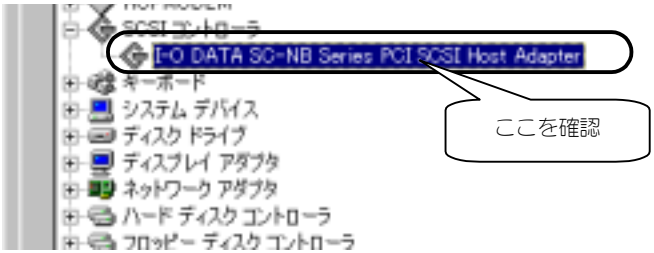
**【インストール後の確認でデバイスマネージャのどこにも登録されていない】(P89)の項を参照してください。**

## 3 表示が正しいかを確認します。

### 正しい状態

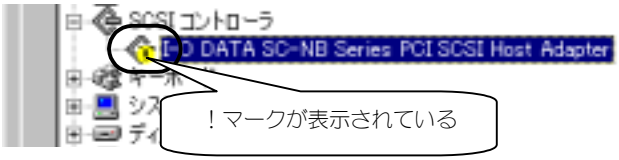
**以下が表示されていれば正常です。**

「I-O DATA SC-NB Series PCI SCSI Host Adapter」




### 正しくない状態

**「I-O DATA SC-NB Series PCI SCSI Host Adapter」の頭に！マークがある場合**




**【参考１】(P95)を参照してください。**

**以上が正常ならば、この後、本ボードにSCSI機器を接続します。**
**【３ SCSI機器を接続しよう】（P49）へお進みください。**

MEMO

# 2

# インストールしよう

# (②Windows95の場合)

**この章では、既にWindows95がインストールされている
パソコンに、本ボードを取り付けた場合に必要となる
ドライバのインストール手順について説明します。**

**注意**

SCSI機器の接続は【3 SCSIを機器を接続しよう】(P49)にて行います。

ステップ1

## Windows95へインストールする

本ボードを使用するために必要なソフトウェアをサポートソフトからインストールします。(P24)

▼

ステップ2

## インストール状態を確認する

本ボードが正常に使用できるか確認します。(P30)

# ステップ1 Windows95へインストールする

**1** パソコンの電源を入れ、パソコンを起動します。

**2** パソコン起動後、以下のいずれかの画面が表示されます。
表示された画面に該当する個所へお進みください。

［新しいﾊｰﾄﾞｳｪｱ］画面




次ページへ

［ﾃﾞﾊﾞｲｽﾄﾞﾗｲﾊﾞｳｨｻﾞｰﾄﾞ］画面




P27へ

どちらの画面も表示されない場合は…

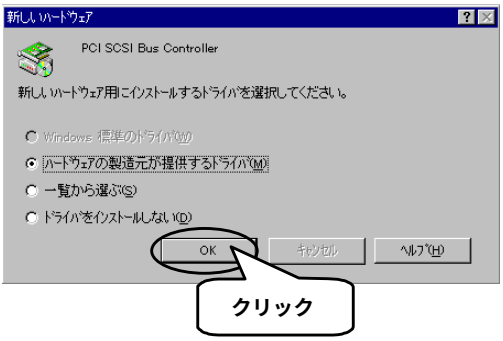
P89参照

## [新しいﾊｰﾄﾞｳｪｱ]画面

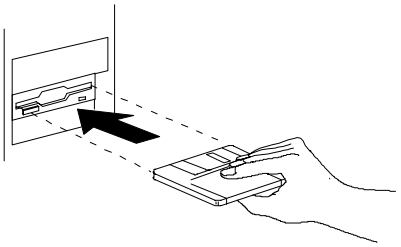



**が表示された場合の手順**

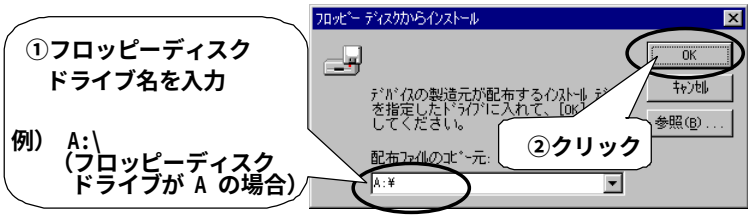
### 1 ［OK］をクリックします。




### 2 「サポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入します。

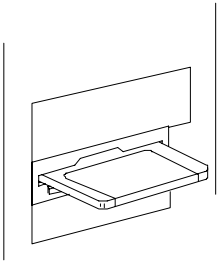


**3** **フロッピーディスクドライブ名を指定し、[OK]をクリックします。**




**4** **インストールが終了すると以下の「システム設定の変更」画面が表示されます。**

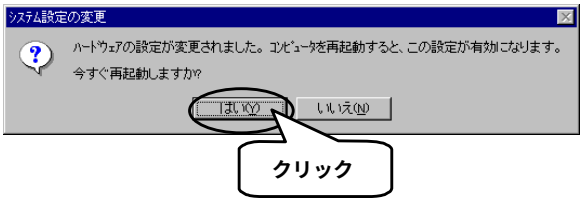
①フロッピーディスクドライブから「サポートソフト」ディスクを抜きます。



②［はい］をクリックします。

※以下の画面が表示されなかった場合は、
『スタート』→「Windowsの終了」で必ず再起動を行ってください。

［システム設定の変更］画面




以上でインストールは終了です。

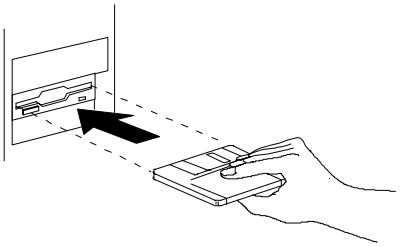
再起動後、【ステップ２】(P30)へお進みください。

## [ﾃﾞﾊﾞｲｽﾄﾞﾗｲﾊﾞｳｨｻﾞｰﾄﾞ]画面

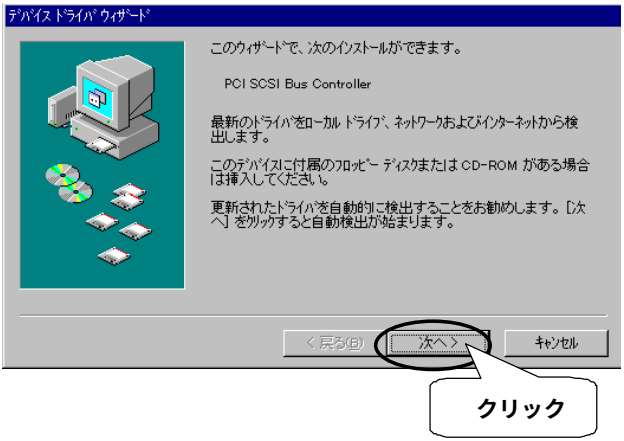



**が表示された場合の手順**

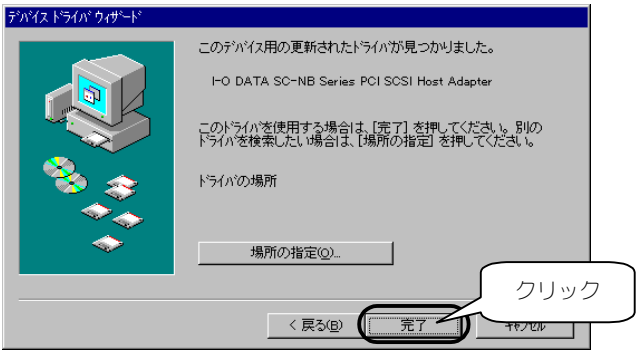
**1**　「サポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入します。



**2**　［次へ］をクリックします。



**3** ［完了］をクリックします。

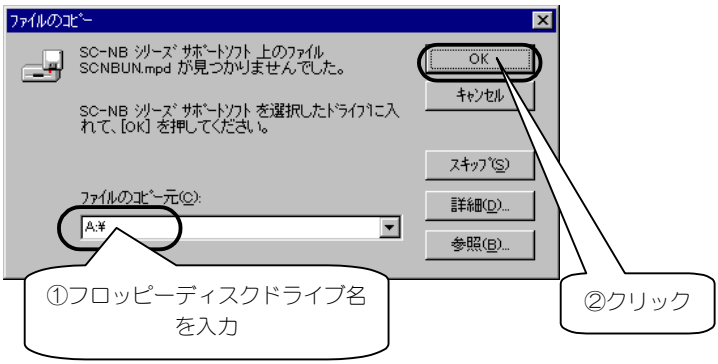



**4** 以下の画面が表示された場合は、［OK］をクリックします。



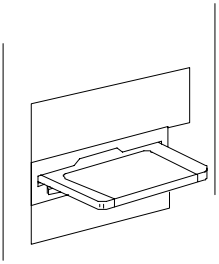

フロッピーディスクドライブ名を指定後、［OK］をクリックします。

例）　A:¥　（フロッピーディスクドライブが A ドライブの場合）



## 5 インストールが終了すると以下の「システム設定の変更」画面が表示されます。

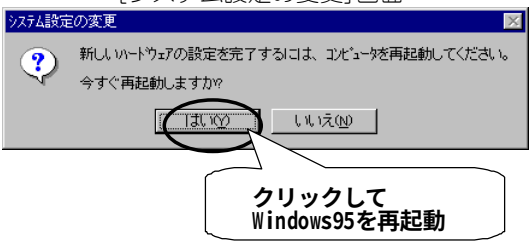
①フロッピーディスクドライブから「サポートソフト」ディスクを抜きます。



②［はい］をクリックします。

※以下の画面が表示されなかった場合は、
『スタート』→「Windowsの終了」で必ず再起動を行ってください。

［システム設定の変更］画面




以上でインストールは終了です。

再起動後、【ステップ２】(次ページ)へお進みください。

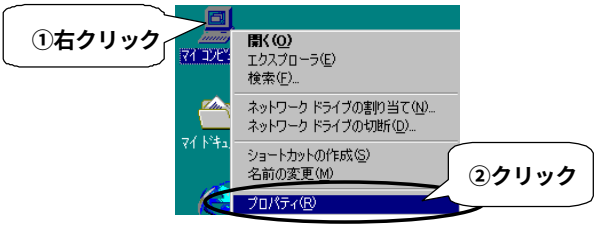
ステップ2

# インストール状態を確認する

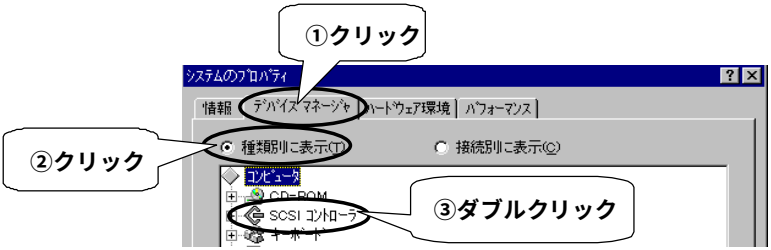
「サポートソフト」が正常にインストールされたかを必ず確認しましょう。
正常にインストールされていないとSCSI機器が使用できません。

## インストール状態の確認方法

**1** **『マイコンピュータ』を右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。**




**2** **「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「種類別に表示」での「SCSIコントローラ」をダブルクリックします。**




**PC98-NXシリーズをお使いで「デバイスマネージャ」タブが表示されない場合**

1. ［スタート］→［プログラム］→［Cyber Trio-NX］（［NXユーティリティ］または［NXの設定］）→［Cyber Trio-NXｾｯﾄｱｯﾌﾟ］を選択します。
2. ［アドバンスモード］にチェックし、Windowsを再起動します。
3. 再度手順の **1** から行います。

**「SCSIコントローラ」の表示がない場合は…**

以下のいずれかが考えられます。

**パターン①　「その他のデバイス」として登録されている場合**

（「その他のデバイス」の下に「PCI SCSI Bus Controller」と表示されている場合）




**【参考５】(P114)を参照してください。**

**パターン②　どこにも登録（表示）されていない場合**

（「SCSIコントローラ」および「その他のデバイス」のどちらの表示も無い場合）

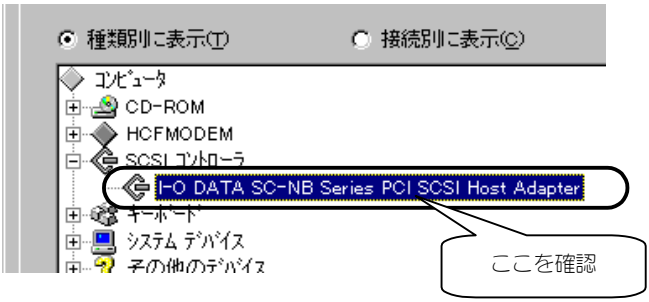
**【インストール後の確認でデバイスマネージャのどこにも登録されていない】(P89)の項を参照してください。**

## 3 表示が正しいかを確認します。

### 正しい状態

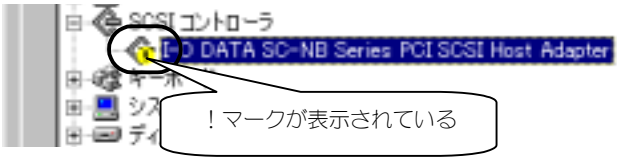
**以下の①かつ②であれば正常です。**

① 「I-O DATA SC-NB Series PCI SCSI Host Adapter」と表示されている
② 「I-O DATA SC-NB Series PCI SCSI Host Adapter」の頭に！マークが表示されていない




### 正しくない状態

**「I-O DATA SC-NB Series PCI SCSI Host Adapter」の頭に！マークがある場合**




【参考１】(P95)を参照してください。

**以上が正常ならば、この後、本ボードにSCSI機器を接続します。**

**【３ SCSI機器を接続しよう】（P49)へお進みください。**

# 2

# インストールしよう

# (③Windows2000の場合)

**この章では、既にWindows2000がインストールされているパソコンに、本ボードを取り付けた場合に必要となるドライバのインストール手順について説明します。**

**注意**

SCSI機器の接続は【3 SCSI機器を接続しよう】(P49)にて行います。

ステップ1

## Windows2000へインストールする

本ボードを使用するために必要なソフトウェアをサポートソフトからインストールします。(P34)

▼

ステップ2

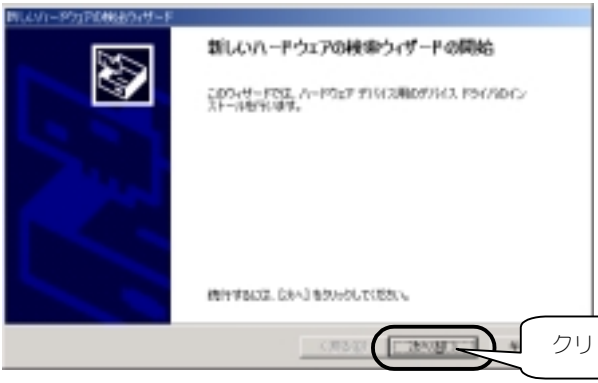
## インストール状態を確認する

本ボードが正常に使用できるか確認します。(P37)

# ステップ1 Windows2000へインストールする

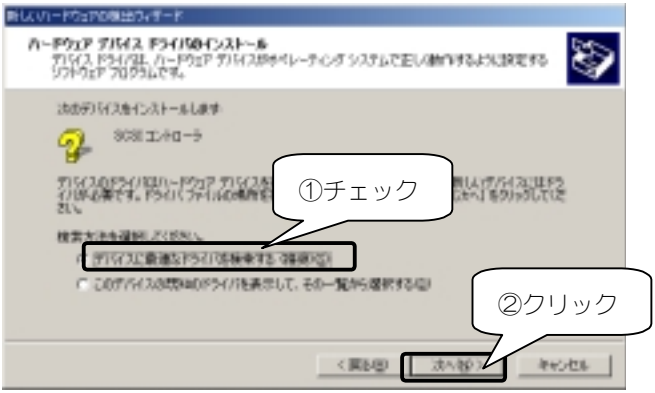
**1** パソコンの電源を入れ、パソコンを起動します。

**2** ［次へ］をクリックします。

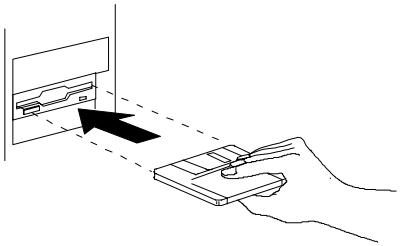



**上記の画面が表示されない場合は…** **P89参照**

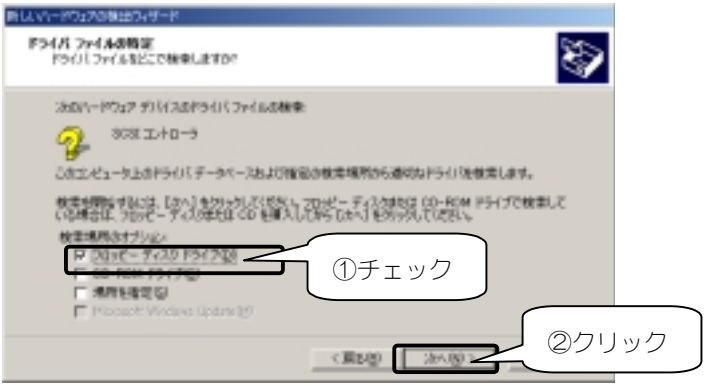
**3** [デバイスに最適な・・・]をチェックし、[次へ]をクリックします。



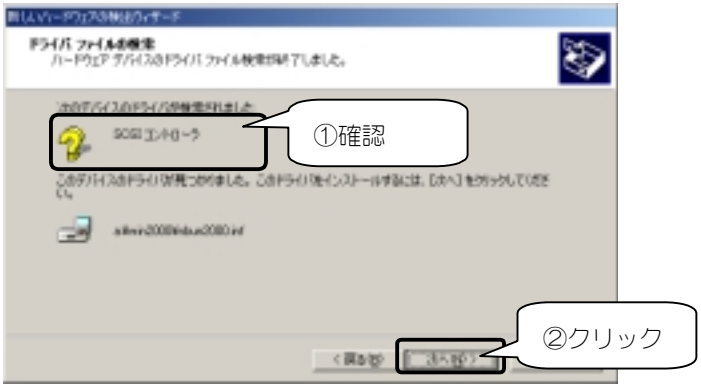
**4** 「サポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入します。



**5** [フロッピーディスクドライブ]をチェックし、[次へ]をクリックします。

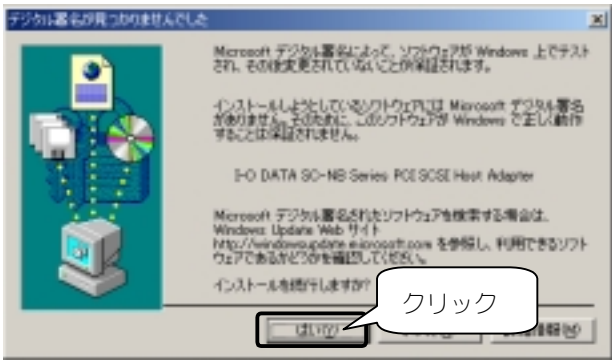



**6** [SCSIコントローラ]と表示されていることを確認し、[次へ]をクリックします。



**7** **[はい]をクリックします。**

必要なファイルがコピーされます。




**8** **[完了]をクリックします。**




**以上でインストールは終了です。**

**【ステップ２】(次ページ)へお進みください。**

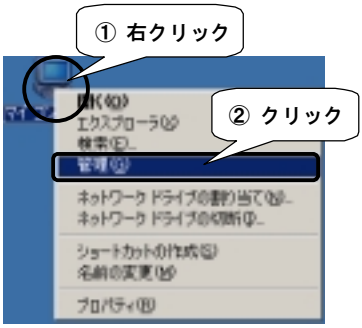
ステップ２

# インストール状態を確認する

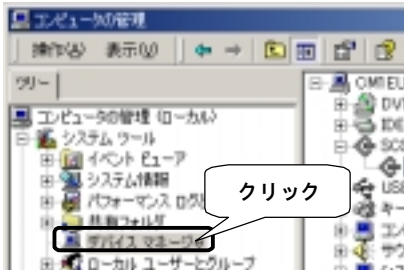
「サポートソフト」が正常にインストールされたかを必ず確認しましょう。
正常にインストールされていないとSCSI機器が使用できません。

## インストール状態の確認方法

**1** **『マイコンピュータ』を右クリックし、表示された［管理］をクリックします。**




**2** **［デバイスマネージャ］をクリックします。**

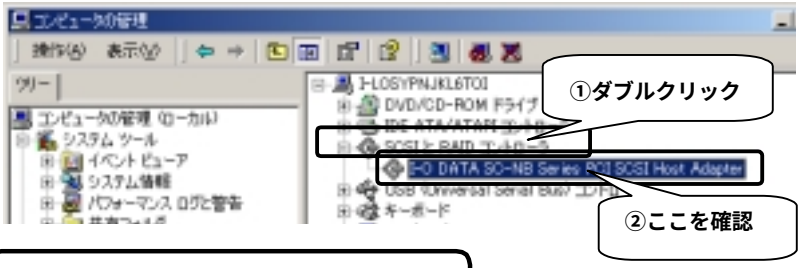


**3** **［SCSIとRAIDコントローラ］をダブルクリックし、表示が正しいかを確認します。**

## 正しい状態

**以下が表示されていれば正常です。**

「I-O DATA SC-NB Series PCI SCSI Host Adapter」




## 正しくない状態

- **「I-O DATA SC-NB Series PCI SCSI Host Adapter」の頭に！マークがある場合**

**【参考１】(P95)を参照してください。**




- **「SCSIコントローラ」と表示されている場合**

**【参考６】(P122)を参照してください。**

**以上が正常ならば、この後、本ボードにSCSI機器を接続します。**
**【３ SCSI機器を接続しよう】（P49)へお進みください。**

# 2

# インストールしよう

# (④WindowsNT4.0の場合)

**この章では、既にWindowsNT4.0がインストールされているパソコンに、本ボードを取り付けた場合に必要となるドライバのインストール手順について説明します。**

**注意**

SCSI機器の接続は【3 SCSIを機器を接続しよう】(P49)にて行います。

ステップ1

## WindowsNT4.0へインストールする

本ボードを使用するために必要なソフトウェアをサポートソフトからインストールします。(P40)

▼

ステップ2

## インストール状態を確認する

本ボードが正常に使用できるか確認します。(P43)

# ステップ1 WindowsNT4.0へインストールする

## 1 パソコンの電源を入れます。

本ボードが、パソコンに正しく取り付けられていることを確認し、パソコンの電源を入れます。

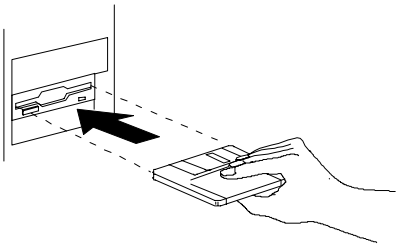
## 2 『コントロールパネル』内の SCSI アダプタ （SCSI アダプタ）を開きます。

『スタート』→『設定』→『コントロールパネル』内の SCSI アダプタ （SCSI アダプタ）をダブルクリックします。

## 3 「ドライバ」タブ、続けて[追加]をクリックします。



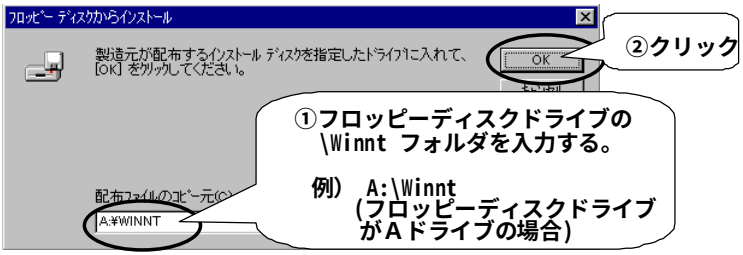

## 4 「サポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入します。



## 5 「ディスク使用」をクリックします。

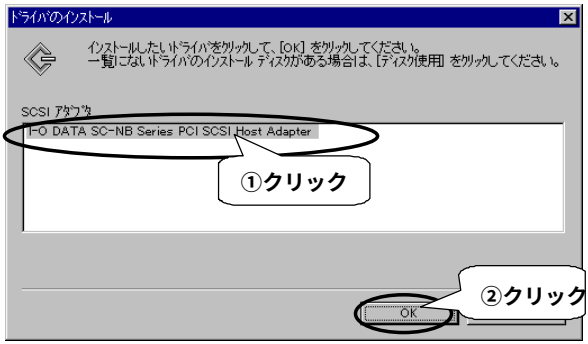



## 6 フロッピーディスクドライブの Winnt フォルダを指定後、［OK］をクリックします。

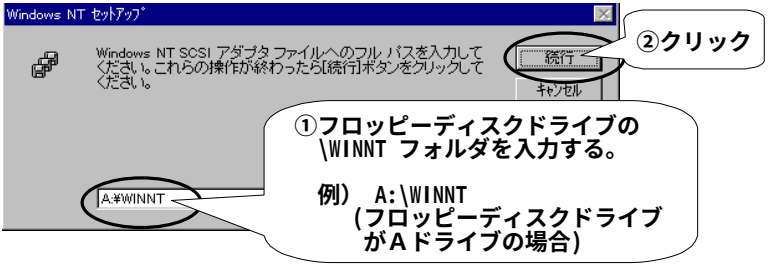



## 7 ［I-O DATA SC-NB Series PCI Host Adapter］、続けて［OK］をクリックします。

インストールが開始されます。

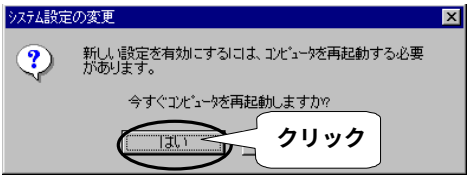


**8** **フロッピーディスクドライブの WINNT フォルダを指定後、［続行］をクリックします。**




**9** **インストールが終了すると以下の画面が表示されます。**

**フロッピーディスクドライブから「サポートソフト」ディスクを抜きます。以下の画面で［はい］をクリックしてください。**




**以上でインストールは終了です。**

**再起動後、【ステップ２】(次ページ)へお進みください。**

ステップ2

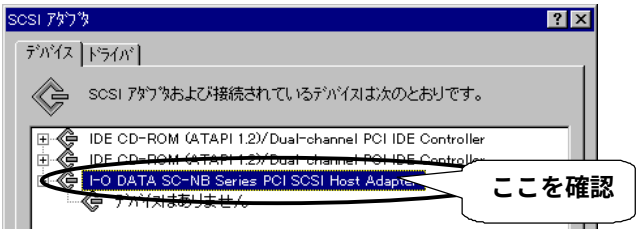
# インストール状態を確認する

「サポートソフト」が正常にインストールされたかは必ず確認しましょう。
正常にインストールされていないとSCSI機器が使用できません。

## インストール状態の確認方法

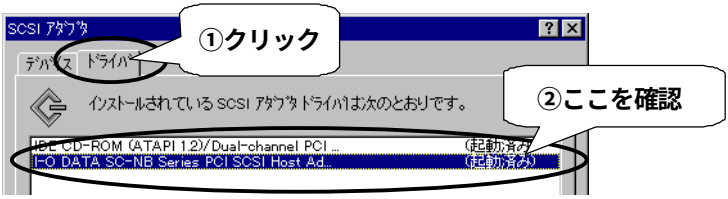
**1** **『スタート』→『設定』→『コントロールパネル』→『SCSIアダプタ』の「デバイス」タブで以下が表示されていることを確認してください。**

「I-O DATA SC-NB Series PCI SCSI Host Adapter」




**2** **上記画面の「ドライバ」タブをクリックし、以下が[起動済み]であることを確認してください。**

「I-O DATA SC-NB Series PCI SCSI Host Adapter」




**[未起動]となっている場合は…** **P90参照**

**この後、本ボードにSCSI機器を接続します。**
**【3 SCSI機器を接続しよう】(P49)へお進みください。**

MEMO

# 2

# インストールしよう

# (⑤WindowsNT3.51の場合)

**この章では、既にWindowsNT3.51がインストールされているパソコンに、本ボードを取り付けた場合に必要となるドライバのインストール手順について説明します。**

**注意**

SCSI機器の接続は【３ SCSIを機器を接続しよう】(P49)にて行います。

ステップ１

## WindowsNT3.51へインストールする

本ボードを使用するために必要なソフトウェアをサポートソフトからインストールします。(P46)

# ステップ1 WindowsNT3.51へインストールする

**1 パソコンの電源を入れます。**

本ボードが、パソコンに正しく取り付けられていることを確認し、パソコンの電源を入れる。

**2 『WindowsNTセットアップ』を開きます。**

『プログラムマネージャ』→『メイン』をクリックし、
「Windows NT セットアップ」をダブルクリックします。

**3 『SCSI アダプタの追加と削除』を開きます。**

『設定』→『SCSI アダプタの追加と削除』をクリックします。

**4 ［追加］をクリックします。**

**5 ″SCSIアダプタを追加しますか？″と表示されたら［OK］をクリックします。**

**6 『アダプタ』で『その他』をクリックします。**

**7 「サポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入します。**

**8 フロッピーディスクドライブの WINNT ディレクトリを指定後、［OK］をクリックします。**

**9 ［I-O DATA SC-NB Series PCI SCSI Host Adapter］、続けて［OK］をクリックします。**

**10** ［組み込み］をクリックします。

**11** “WindowsNT SCSIアダプタファイルへのフルパスを入力してください。……」と表示された場合は、フロッピーディスクドライブの WINNT ディレクトリを指定後、［続行］をクリックします。

**12** 以下が登録（表示）されていることを確認後、［閉じる］をクリックします。
「I-O DATA SC-NB Series PCI SCSI Host Adapter」

**13** ［WindowsNT セットアップ］画面を閉じます。

**14** フロッピーディスクドライブから「サポートソフト」ディスクを抜きます。

**15** ［ＯＫ］をクリックします。

以上でインストールは終了です。

この後、本ボードにSCSI機器を接続します。
【３ SCSI機器を接続しよう】（P49）へお進みください。

MEMO

# 3

# SCSI機器を接続しよう

**この章では、SCSI機器を本ボードに接続する手順について説明します。**

ステップ1

## SCSI機器接続前のチェック

接続前に確認していただきたいことをまとめてあります。
接続前に必ずお読みください。(P50)

▼

ステップ2

## それではSCSI機器を接続しよう

内蔵および外付SCSI機器を接続します。(P54)

▼

ステップ3

## SCSI機器が使用できるか確認しよう

SCSI機器が正常に使用できるか確認します。(P60)

# ステップ1 SCSI機器接続前のチェック

本ボードにSCSI機器を接続する前に以下を確認しましょう。



## 接続したい SCSI 機器は Narrow ですか？

本ボードには、Narrow SCSI（ﾅﾛｰｽｶﾞ）機器が接続できます。
お使いのSCSI機器がNarrow SCSI機器かは各SCSI機器の取扱説明書または
メーカーにご確認ください。

**用語：Narrow SCSI**

**バス幅が8bitの50ピン（スキャナによっては25ピン）のコネクタを搭載した SCSI機器のことです。**

## ターミネータ、SCSI ケーブルは用意してありますか？

| 接続する SCSI 機器 | 用意するケーブル |
|---|---|
| 内蔵 Narrow SCSI 機器 | 50 ピン SCSI フラットケーブル |
| 外付 Narrow SCSI 機器 | 50 ピン SCSI ケーブル（接続台数分が必要） |

- 本製品には、ターミネータ、50 ピン SCSI フラットケーブルは添付しておりません。
  また、製品名「SC-NBD」には、外付 SCSI ケーブルも添付しておりません。必要に応じて、【オプション品について】(P150)を参照して、別途お買い求めください。
- SCSI 機器を接続する場合、最後の SCSI 機器にはターミネータが必要です。
  なお、内蔵型の場合、ターミネータは SCSI 機器側で設定する（ジャンパスイッチなど）場合もあります。SCSI 機器の取扱説明書を参照してください。
- 外付 SCSI 機器と内蔵 SCSI 機器の両方を取り付ける場合は、それぞれの終端にターミネータが必要です。
- 接続するケーブルはすべてハイ・インピーダンスタイプ（90Ω～132Ω）にしてください。

## SCSI 機器の SCSI ID が重複していませんか？

- 複数の SCSI 機器を接続する場合、SCSI 機器を識別するために、各機器ごとに別々の SCSI ID を設定します。SCSI ID が重複している場合は、各 SCSI 機器の取扱説明書を参照して設定し直してください。
  （SCSI 機器が 1 台だけの場合は特に設定し直す必要はありません。）
- Narrow SCSI 機器は「0」～「7」の SCSI ID を設定することができますが、本ボードも SCSI ID「7」（固定）を使用しますので、接続する SCSI 機器では「7」以外を設定してください。

## 接続台数やケーブル長の制限を超えていませんか？

● 複数の SCSI 機器を接続する場合は、接続する SCSI 機器の種類により、最大ケーブル長や接続台数に、次のような制限があります。

■Narrow SCSI 機器

| SCSI 機器 | 転送能力 | | 最大ケーブル長 | 最大 |
|---|---|---|---|---|
| | (MB/S) | (MT/S) | (*1) | 接続台数 |
| Narrow | 5 | 5 | 6m | 7台 |
| Fast | 10 | 10 | 3m | 7台 |
| Ultra | 20 | 20 | 3m (*2) | 3台 |
| | | | 1.5m (*3) | 7台 |

**(*1) SCSI 機器内部の基板や内部ケーブル長（１台につき約 15㎝）を含めた合計の長さ**

**(*2) 接続する機器が１台～３台の場合**

**(*3) 接続する機器が４台～７台の場合**

これらの記載項目はあくまで SCSI 規約に基づくものです。実際には、接続する SCSI 機器の性能に影響されます。

**注意**

**SCSI機器を増設する場合は、増設時のケーブルの長さにご注意ください。増設時は、1台目で使用しているケーブルより短いケーブルの使用をお薦めします。**

**参考**

**SCSI機器の取扱説明書には、仕様として、SCSI-2またはSCSI-3とだけしか記入されていない場合があります。この場合、SCSI-2とは「Fast SCSI」、SCSI-3とは「Ultra SCSI」を意味します。**

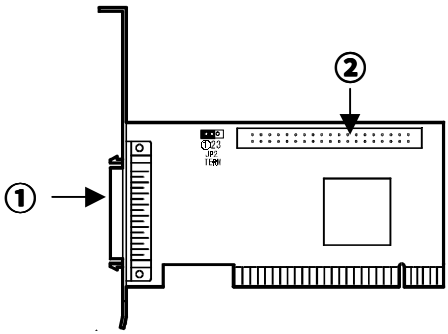
## 本ボードにプリンタやスキャナなどを接続する場合

- 拡張 SCSI ボードに対応していないプリンタやスキャナは使用できません。（接続しても、そのプリンタやスキャナを認識することができません。）拡張 SCSI ボードに対応しているかどうかは、プリンタやスキャナのメーカにお問い合わせください。（動作確認済みのスキャナについては、【動作確認済みのスキャナ】P8 参照）

### スキャナ接続時のポイント

**①できるだけ変換アダプタ等は使用せず、付属のケーブルもしくはそれに準じたハイインピーダンスタイプのケーブルで直に接続する様にしてください。**
**②他の SCSI 機器と併用する場合は、ケーブル長が長くなってしまいがちですのでご注意ください。**

## 本ボードのコネクタ位置は確認しましたか？



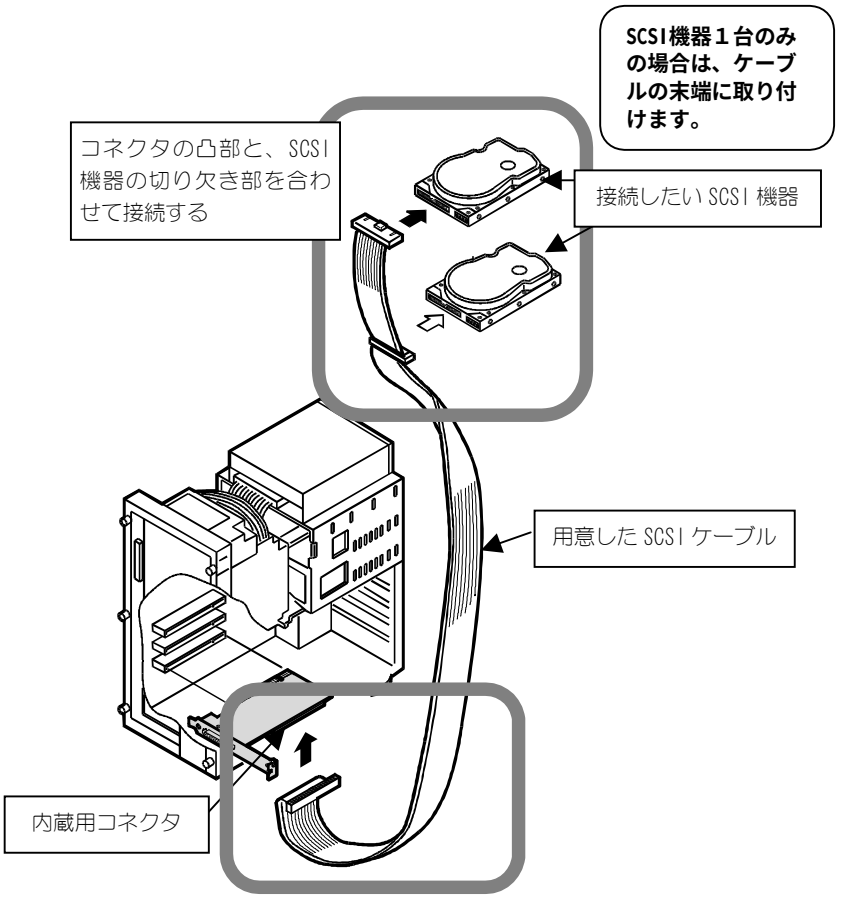

| No. | コネクタ名 | 用途 |
|---|---|---|
| ① | 外付用コネクタ（Ultra SCSI） | D-sub ハーフピッチ 50 ピン<br>SCSI ケーブルを介して、外付 Narrow SCSI 機器を接続します。 |
| ② | 内蔵用コネクタ（Ultra SCSI） | フラットタイプ 50 ピン<br>SCSI フラットケーブルを介して、内蔵 Narrow SCSI 機器を接続します。 |

# ステップ2 それではSCSI機器を接続しよう

本ボードと各種SCSI機器をケーブルで接続します。
SCSI機器との接続にあたっては本書だけでなく、接続するSCSI機器の取扱説明書も必ずお読みください。

**※パソコンの電源を切り、パソコンの電源ケーブルを取り外してから、接続してください。**

## 内蔵ＳＣＳＩ機器を接続する



## 接続のヒント

前ページの図は、内蔵 SCSI 機器を 1 台または 2 台を接続する場合の例です。

1. 内部接続用 SCSI ケーブルを用意し、SCSI ボードの内蔵用コネクタと内蔵 SCSI 機器のコネクタを接続します。コネクタの切り欠き部と、SCSI ケーブルの凸部を合わせてから差し込んでください。
2. 内蔵 SCSI の最終端の機器に、用意した内蔵 SCSI 機器用ターミネータを取り付けるか、内蔵 SCSI 機器のジャンパスイッチでターミネータを有効にします。（ターミネータは最終端の SCSI 機器のみ設定します。）

**注意**

- **ケーブル末端のSCSI機器のターミネータが有効になっていることを確認してください。また、ケーブル末端以外のSCSI機器のターミネータは無効になっていることを確認してください。**
- **ターミネータの設定方法については、SCSI機器の取扱説明書を参照してください。**

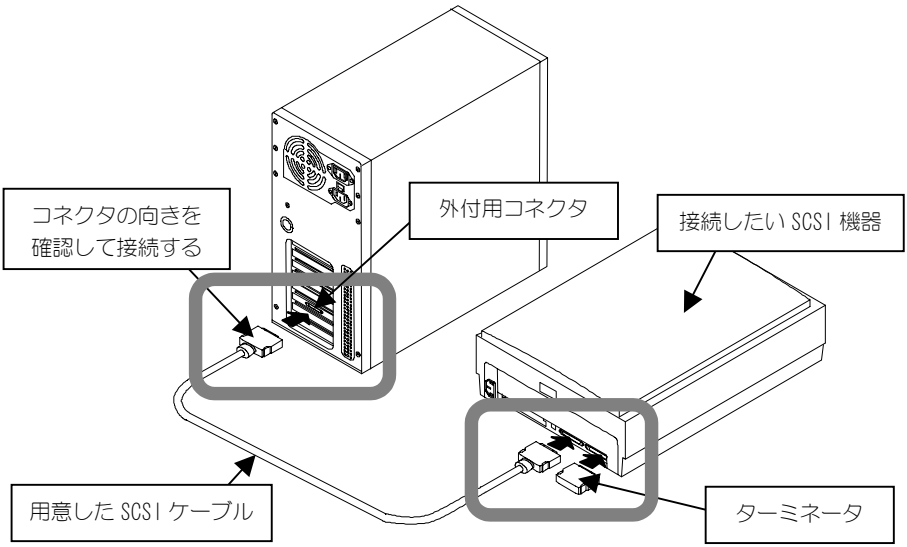
3. 電源が必要な場合は、SCSI 機器およびパソコンの取扱説明書を参照して、電源を接続してください。
4. パソコンのカバーをもとに戻してください。

接続したい SCSI 機器およびパソコンの取扱説明書も参照してください。

外付 SCSI 機器を接続する場合は、次ページへお進みください。
内蔵 SCSI 機器のみの場合は、取り付け完了です。【SCSI 機器が使用できるか確認しよう」（P60）へお進みください。

# 外付ＳＣＳＩ機器を接続する

## 外付SCSI機器を１台接続する場合




**注意**

**コネクタを差し込んだり、抜いたりする場合は、ピンが折れないように<u>コネクタをまっすぐにした状態</u>で行ってください。（ピンが折れると正常に動作しなくなります。）**
**抜き差しの際、固いと感じた場合は無理をせず、ピン曲がり等が無いか確認してください。**



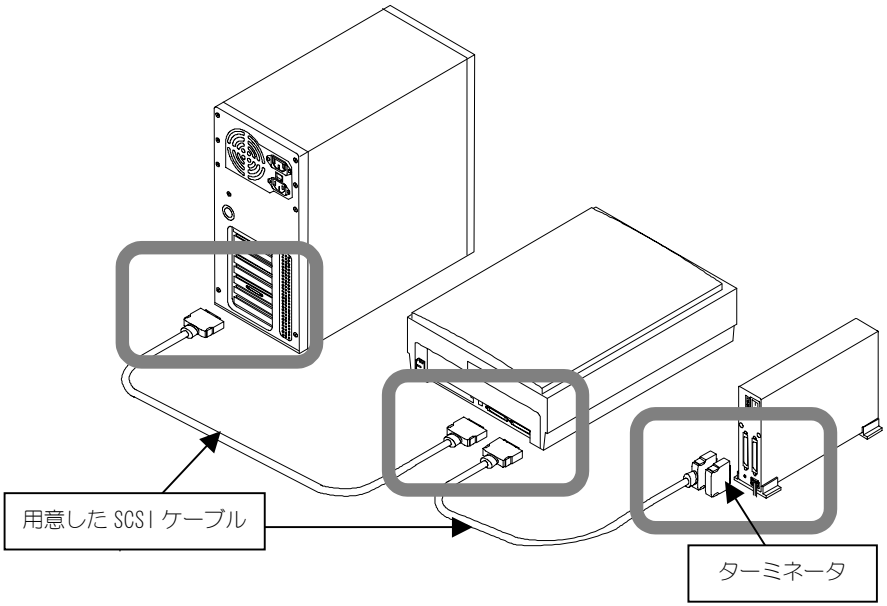
## 接続のヒント

1. SCSI ケーブルを用意し、接続したい SCSI 機器と SCSI ボードの外付用コネクタを接続します。コネクタの向きおよび種類を確認し、まっすぐに差し込んでください。
2. SCSI 機器の最終端の機器に、用意したターミネータを付けます。
3. 本ボードのコネクタがケーブルと合わない場合は、できるだけ変換アダプタは使用せずに別売オプションのケーブルをお使いください。（【オプション品について】(P150)参照）

接続したい SCSI 機器の取扱説明書も参照してください。

外付 SCSI 機器が１台のみの場合は、取り付け完了です。【SCSI 機器が使用できるか確認しよう」(P60)へお進みください。
外付 SCSI 機器を複数台接続する場合は、次ページを参照後、【SCSI 機器が使用できるか確認しよう」(P60)へお進みください。

## 外付SCSI機器を複数台接続する場合




（SCSI機器を２台接続する例）

**注意**

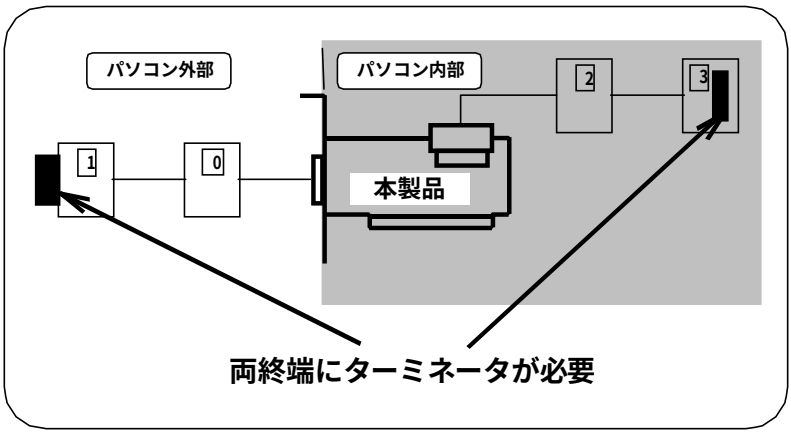
**1)5MB/secを超える高速同期転送を行うSCSI機器は、なるべくターミネータに近い箇所に接続してください。**

**2)SCSIバス両端の機器をできる限りターミネータと近づけ、SCSI機器を増設する場合は、1台目で使用しているケーブルよりも短いケーブルを使用することをお薦めします。**

**3)SCSI機器使用中にエラー発生やハングアップが発生した場合には、まず転送レートを低く設定してみてください。**

## 内蔵および外付ＳＣＳＩ機器両方を接続する場合

【内蔵SCSI機器を接続する】(P54)～【外付SCSI機器を接続する】(P56)を参照し、各SCSI機器を接続します。
ターミネータについては内蔵・外付両終端にそれぞれ設定してください。



# ステップ3 SCSI機器が使用できるか確認しよう

以下の手順で、SCSI機器が正常に使用できるかを確認しましょう。

**注意**

**SCSI機器が正常に使用できるかについての確認は、各SCSI機器の取扱説明書も参照してください。**

ここでは、Windows98/95、Windows2000、WindowsNT4.0での、接続したSCSI機器の接続が正常かの確認方法について説明します。
確認は、添付ユーティリティ「ASPI接続ビューア」で行います。（「ASPI接続ビューア」はWindows98/95、Windows2000、WindowsNT4.0用です。）

**注意**

**1)「ASPI接続ビューア」はWindows98/95、Windows2000、WindowsNT4.0用です。WindowsNT3.51には対応しておりません。**
**2)『ASPI接続ビューア』のインストールの有無と本ボードの実際の動作は関係ありません。**
**3) 「ASPI接続ビューア」をインストールすれば、同時に「ASPIマネージャ」（Windows2000,WindowsNT4.0用）も同時にインストールされます。**
**4)スキャンディスクを行っている時に、「ASPI接続ビューア」は起動しないでください。**
**5) SCSI機器の接続が正常かについては、各SCSI機器の取扱説明書も参照してください。**

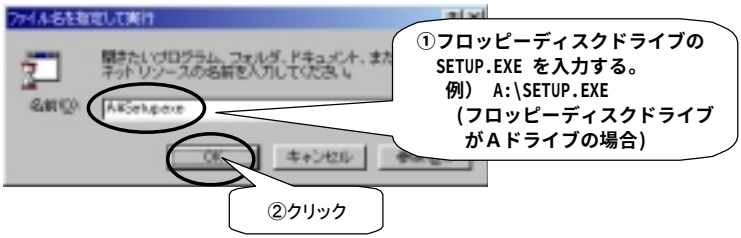
次ページを参照し、インストール後、接続を確認してください。

# 「ASPI接続ビューア」をインストールする

**1** 『ｽﾀｰﾄ』→『ﾌｧｲﾙ名を指定して実行』をクリックします。

**2** 「サポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入します。

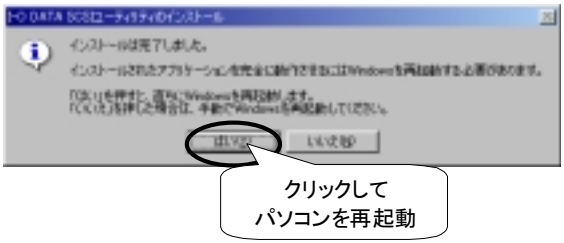
**3** フロッピーディスクドライブの¥SETUP.EXEを指定し、[ＯＫ]をクリックします。




**4** 後は画面の指示に従ってください。

**インストールが終了すると以下の画面が表示されます。**

［はい］をクリックし、再起動後、「I-O DATA SCSIﾕｰﾃｨﾘﾃｨ」グループが登録されます。使用方法は次ページ以降およびヘルプをご覧ください。



# 「ASPI接続ビューア」でSCSI機器を確認する

「ASPI接続ビューア」を起動して、SCSI機器の接続を確認します。

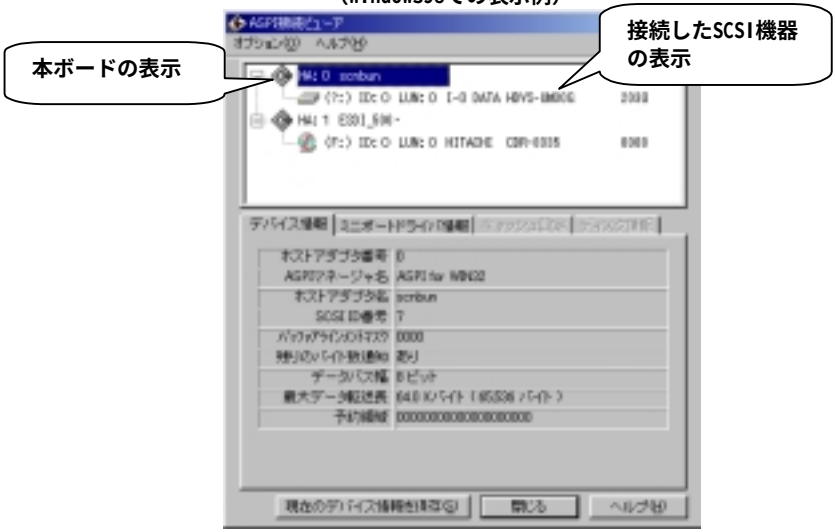
## 1 「ASPI接続ビューア」を起動します。

『ｽﾀｰﾄ』ボタンから実行する場合は『ｽﾀｰﾄ』→『ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ』→『I-O DATA SCSIﾕｰﾃｨﾘﾃｨ』→『ASPI接続ビューア』をクリックします。

## 2 本ボードに接続しているSCSI機器の一覧が表示されますので、接続したSCSI機器を確認してください。

画面表示その他詳細な使用方法はヘルプをご覧ください。

(Windows98での表示例)




**注意**

本ボードは、［scnbun］と表示されます。

「scnbun」が表示されない場合は… P93参照

**以上で接続の確認は終了です。**

## 確認後の作業

**フォーマットが必要なSCSI機器（ハードディスク等）をお使いの場合は…**



**【4 SCSI機器をフォーマットする場合】P65へお進みください。**

**フォーマットが必要でないSCSI機器（スキャナ等）をお使いの場合は…**



**本製品の作業は終了です。**後は、お使いのSCSI機器の取扱説明書を参照してください。

MEMO

# 4

# SCSI機器をフォーマットする場合

**この章では、接続したSCSI機器のフォーマット手順について説明します。**

ステップ1

**フォーマット手順の概要**

フォーマット手順の概要について説明します。(P66)

▼

ステップ2

**① Windows98/95でのフォーマット方法**

Windows98/95でのフォーマット手順について説明します。(P67)

**② Windows2000でのフォーマット方法**

Windows2000でのフォーマット手順について説明します。(P81)

**③ WindowsNTでのフォーマット方法**

WindowsNTでのフォーマット手順について説明します。(P82)

# ステップ1　フォーマット手順の概要

購入したハードディスクやMOディスク等を初めて使用する際は、フォーマットしなければ使用できません。
ただし、使用しているOSによってフォーマット方法が異なります。

**注意**

**Windows98/95、Windows2000での『ﾏｲｺﾝﾋﾟｭｰﾀ』内のドライブアイコンを右クリックでのフォーマット,DISKINIT(PC-9821シリーズのみ),FDISK,FORMATコマンドでは、正常にフォーマットできませんので、使用しないでください。**

フォーマット方法は、以下の該当箇所を参照してください。


**Windows98/95をお使いの場合** → **次ページ参照**

**Windows2000をお使いの場合** → **P81参照**

**WindowsNTをお使いの場合** → **P82参照**

ステップ２

# ① Windows98/95での フォーマット方法

ここではWindows98/95でのフォーマット手順について説明します。

## ハードディスクのフォーマット方法

**ASPIFORMを使ってフォーマットしてください。**
**（【Windows98/95用フォーマッタソフト】(次ページ)参照）**

※ASPIFORMでパーティションを１つ以上作成しないとハードディスクは使用できません。（詳細は次ページ参照）

**注意**

**1)Windows98/95のDISKINIT(PC-9821シリーズのみ),FDISK,FORMATコマンド等は使用しないでください。**
**2)別な環境でフォーマットしたハードディスクや、ASPIFORMでフォーマットしたハードディスクを再度フォーマットする場合は、必ず再度ASPIFORMでフォーマットしてください。**
**『ﾏｲｺﾝﾋﾟｭｰﾀ』や『ｴｸｽﾌﾟﾛｰﾗ』上からドライブアイコンの右クリックでのフォーマット等では、正常にフォーマットできない場合があります。**

## その他（MO、PD、ZIP等）のフォーマット方法

**各SCSI機器に付属のフォーマッタソフトをご使用ください。**

例）弊社製MOドライブの場合は「MOﾌｫｰﾏｯﾄ」
（詳細は、各SCSI機器付属の取扱説明書を参照してください。）

フォーマッタソフトが付属していない場合にのみ、ASPIFORMを使ってフォーマットしてください。（次ページ参照）

**注意**

**MOディスクは、FAT32でのフォーマットはできません。**

# Windows98/95用フォーマッタソフト［ASPIFORM（ｱｽﾋﾟｰﾌｫｰﾑ）］

SCSI機器を購入後初めて使う場合、Windows98/95上で一度フォーマットしなければ使えません。
ここでは、Windows98/95でフォーマットするためのソフトウェア「ASPIFORM」（ｱｽﾋﾟｰﾌｫｰﾑ）の使い方について説明します。

**注意**

**Windows98/95の『ﾏｲｺﾝﾋﾟｭｰﾀ』の右クリックでのフォーマット,DISKINIT(PC-9821シリーズのみ),FDISK,FORMATコマンドでは、正常にフォーマットできませんので、使用しないでください。**

## ＡＳＰＩＦＯＲＭ(ｱｽﾋﾟｰﾌｫｰﾑ)とは？

ASPIFORMは、本製品専用のWindows98/95用フォーマッタソフトです。
本製品に接続したハードディスク等をフォーマットすることができます。

**注意**

**1)ASPIFORMは、Windows2000およびWindowsNTでは使用できません。**
**2)ASPIFORMでフォーマットしたドライブまたはディスクからは、起動することができません。**
**3)ASPIFORMで作成可能なパーティション数は、最大５つまでです。**
**4)ASPIFORMでフォーマットしたSCSI機器のドライブ名は、ご使用ドライブ環境の一番最後のドライブ名となります。（本製品にBIOSが無いため）**

## ASPIFORMでパーティションを作成します

通常１台のハードディスクは、全容量を１つ以上のいくつかの領域に分割して使用することができます。
この領域がパーティション（区画領域）です。
**パーティションを作成しないとハードディスクは使用できません。**

パーティションの作成はASPIFORMで行います。
ASPIFORMでパーティションの数とそれぞれのパーティションのサイズを設定することができます。
また、分割したパーティション毎にドライブ名が割り当てられるため、
１台のハードディスクを複数台のドライブがあるかのように利用できます。

参照

**パーティションについては、【補足１】(P84)も参照してください。**

## ハードディスクをフォーマットする際は注意が必要です

ASPIFORMでハードディスクをフォーマットする際は、以下の注意を確認してから使用してください。

**① <u>必ずパーティションを1つ以上作成</u>してください。**

１つ以上作成しないとハードディスクを使用できません。
（『ﾏｲｺﾝﾋﾟｭｰﾀ』にドライブアイコンが表示されません。）

注意

**ASPIFORMでは、作成可能なパーティション（区画数）は最大５つまでです。**

### ② 再フォーマット時も必ずASPIFORMを使用してください。

別な環境でフォーマットしたハードディスクや、ASPIFORMでフォーマットしたハードディスクを再度フォーマットする場合は、必ず再度ASPIFORMでフォーマットしてください。

**注意**

**『ﾏｲｺﾝﾋﾟｭｰﾀ』や『ｴｸｽﾌﾟﾛｰﾗ』上からドライブアイコンの右クリックでのフォーマット等では、正常にフォーマットできない場合があります。**

### ③ ASPIFORMでフォーマットしたハードディスクを、本ボード以外の他のSCSIインターフェイスで使用する際には以下の制限があります。

**（PC-9821シリーズのみ）**

a)PC-9821シリーズのデスクトップ型やタワー型のパソコンに接続した場合、MS-DOSでは使用できません。

b)PC-9821シリーズのWindowsNT4.0でも使用する場合、<u>複数パーティションを作成しないで</u>ください。

複数のパーティションに分割したハードディスクに、ディスクアドミニストレータを使用すると正常に動作しない場合があります。

<u>複数のパーティションに分割したい場合</u>

方法１：ASPIFORMで「ディスクの初期化」を行い、未フォーマット状態にする。その後、ディスクアドミニストレータでフォーマットする。

方法２：ASPIFORMで、1つのドライブとしてフォーマットする。
（ただし、2047Mバイトまでしか確保できません。それ以上になる場合は、方法１でフォーマットしてくだい。）

※ WindowsNTでのフォーマット方法は、【③ WindowsNTでのフォーマット方法】(P82)を参照してください。

## 作成できるパーティションには制限があります

Windows98およびWindows95（のバージョン）によって
「作成できるファイルシステム」
「１つのパーティションの最大容量」
に制限があります。（OSのバージョンの確認方法は次ページ参照）
ASPIFORMではその制限に基づいてパーティションを作成します。

### ● ファイルシステムとパーティションの関係

| ﾌｧｲﾙｼｽﾃﾑ | 特徴 |
|---|---|
| FAT32 | １パーティションの最大容量の制限はありません。<br>（１つのパーティションあたりの最大容量はお好きなだけ(最大全容量まで）設定できます。）<br>ただし、作成したパーティションには、Windows95 バージョン4.00.950/4.00.950a,WindowsNTなどのFAT32に対応していないOSではアクセスできません。 |
| FAT16 | １つのパーティションあたりの最大容量は、「2047Mバイト」の制限があります。<br>ただし、作成したパーティションを、Windows98/95,WindowsNTからアスセスできます。 |

### ●ＯＳ(およびそのバージョン)毎の作成できるファイルシステム

| | | ファイルシステム | |
|---|---|---|---|
| 使用ＯＳ | バージョン | FAT32 | FAT16 |
| Windows98 | 4.10.1998/4.10.2222A | ○※1 | ○※2 |
| Windows95 | 4.00.950/4.00.950a | × | ○※2 |
| Windows95 | 4.00.950 B/4.00.950 C | ○※1 | ○※2 |

○：作成可　×：作成不可

※1　１つのパーティションあたりの最小容量は、「512Mバイト」です。
最大容量に制限はありません。

※2　１つのパーティションあたりの最小容量は、「39Mバイト」です。
最大容量は、「2047Mバイト」です。

**■Windows98/95のバージョンの確認方法**

『ﾏｲｺﾝﾋﾟｭｰﾀ』を右クリックして、[ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]を選択します。表示されるバージョンをご確認ください。




## ● FAT16ファイルシステムでの制限

ASPIFORMは、最大５つまでしかパーティションを作成できません。
そのため、Windows95バージョン4.00.950aのようなFAT16ファイルシステム（1つのパーティションの最大容量2047Mバイト）で使用する場合、最大10Gバイト（5つのパーティション × 2047Mバイト）までしか使用できません。

## ● PC-9821シリーズでの制限

PC-9821シリーズをお使いの場合、ハードディスクは最大8.4Gバイトまでしか使用できません。

## ● FAT32使用時の注意

**注意**

**1）ASPIFORMで作成したFAT16のパーティションをFAT16→FAT32コンバートツール（Windows98のFAT32コンバータなど）を使用してFAT32に変更しないでください。**
**FAT16で作成したパーティションをFAT32に変更してご使用になりたい場合は、ASPIFORMを使用して、パーティションを削除し、FAT32でパーティションを作成しなおしてください。**
**（ただし、削除したパーティションのデータはすべて失われます。**
**削除する前に必要なデータのバックアップをとることをお勧めします。）**

**2）FAT32ファイルシステムに対応していないディスクユーティリティを、FAT32で作成したパーティションに対して使用しないでください。**

**3）FAT32に対応していないOSと併用する場合は、FAT16でパーティションを作成してください。**

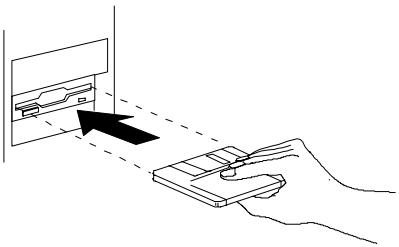
## それではASPIFORMでフォーマットしましょう

**注意**

**ASPIFORMではマウスでの操作はできません。矢印キー（[↓][↑][→][←]キー）にて選択（カーソル移動）を行ってください。**

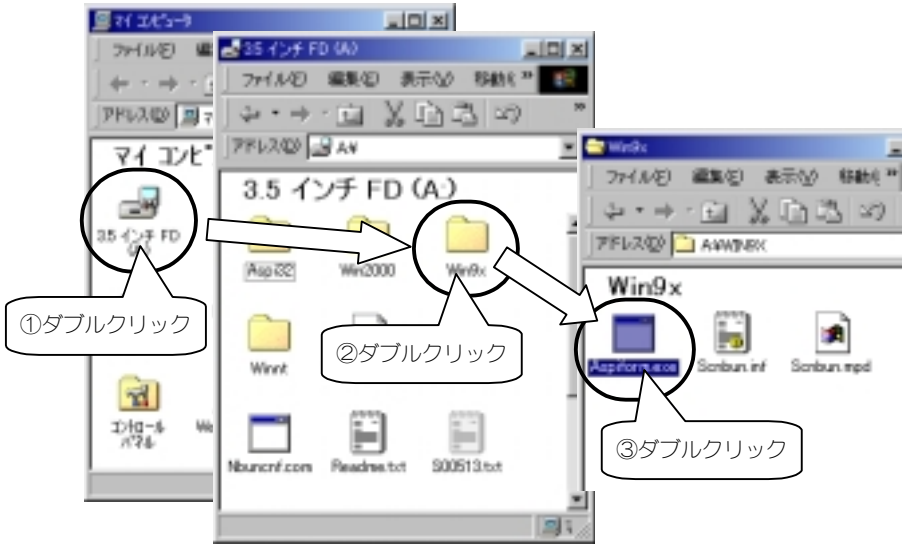
**※以下はハードディスクをフォーマットする場合の例です。**

### *1* 「サポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入します。

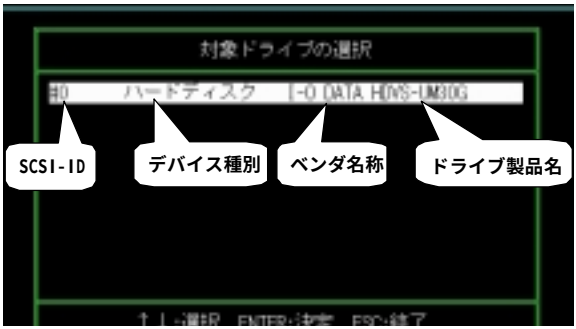


### *2* 『Aspiform.exe』を起動します。

『ﾏｲｺﾝﾋﾟｭｰﾀ』→『3.5インチFD』→『Win9x』→『Aspiform.exe』をダブルクリックして起動してください。



**3** **対象とするドライブの位置に[↓][↑]キーでカーソルを移動し、↵キーを押します。**

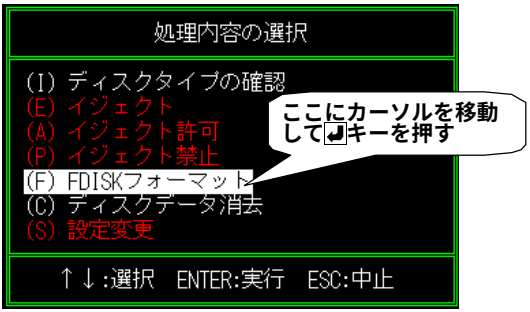



**“対象ドライブが見つかりません。“と表示された場合は…** **P93参照**

**参考**

1) 内蔵ハードディスクは表示されませんので、間違って内蔵ハードディスクの内容を消すことはありません。
2) 内蔵CD-ROMドライブなどが表示されることがありますが、それを選択することはできません。（選択できない機器は赤色で表示されます。）

**4** 「(F)　FDISKフォーマット」の位置に[↓][↑]キーでカーソルを移動し、↵キーを押します。




※選択できない項目は赤色で表示されます。

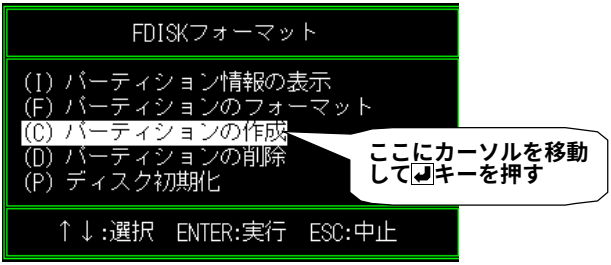
**参照**

各項目の詳細については、【ASPIFORMの処理内容】(P79)を参照してください。

**参考**

MOドライブの場合は、「(F)　FDISKフォーマット」が「(F)　フォーマット」に変わります。詳細は、≪対象ドライブがリムーバブルディスク、MOの場合≫(P80)参照。

**5** 「パーティションの作成」の位置に[↓][↑]キーでカーソルを移動し、↵キーを押します。




**注意**

パーティションを区切らない場合も必ず行ってください。
この作業を行わないとハードディスクを使用できません。

## 6 確保する領域の容量を入力して、↵キーを押します。

割り当て可能なパーティション最大容量が表示されます。

**最大容量を確保する場合（１つのﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝで使用する場合）**

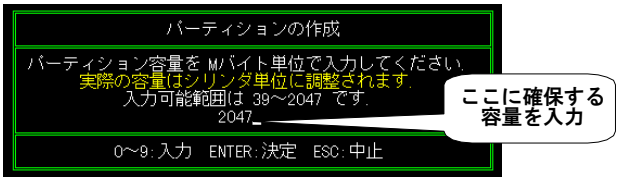
そのまま↵キーを押します。

（表示された容量でパーティションを作成します。）

**パーティションを２つ以上作成する場合**

[Backspace]キー（[BS]キー）で表示されている数字を消し、設定したい容量を入力後、↵キーを押します。

**表示例**




**注意**

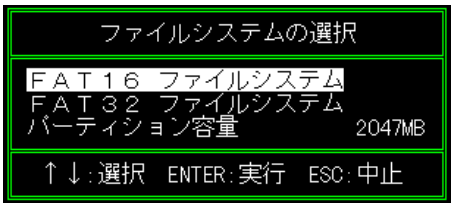
**使用しているOSによって、作成できるパーティションの最大容量は異なります。【ハードディスクの１パーティションの最大容量】(P83)を参照してください。**

## 7 容量を確認し、[→][←]キーで「実行」の位置にカーソルを移動し、↵キーを押します。



## 8 ファイルシステムを選択します。

⇒フォーマットが開始されます。

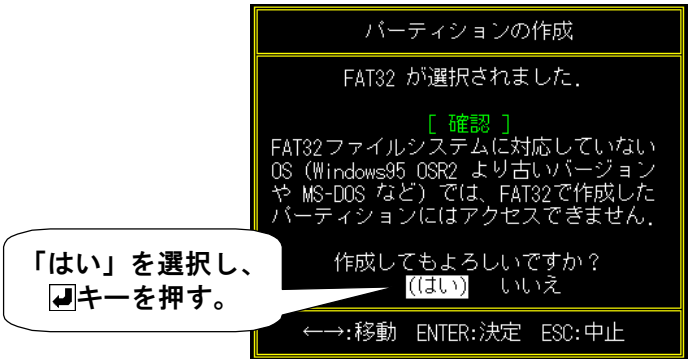



**参照**

**通常は片方のみ選択可能ですが、手順６で指定した容量によっては両方選択できる場合があります。**
**FAT32では、FAT32に対応していないOSなどで認識ができないことにご注意ください。詳細は、【ＯＳ(およびそのバージョン)毎の作成できるファイルシステム】の項(P71)を参照してください。**

## 9 「FAT32 ファイルシステム」を選択すると以下が表示されます。

画面上のメッセージを確認し、作成しても良いなら「はい」を選択し、↵キーを押します。



**10** **フォーマットが終わりましたら、↵キーを押します。**

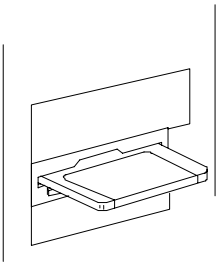
**11** **複数のパーティションを作成する場合は手順5からの作業を繰り返し行ってください。**

手順5からの作業を繰り返し行い、残りの容量を確保してください。

**12** **[ESC]キーを３回押し、ASPIFORMを終了します。**

**13** **終了後、ASPIFORMのウィンドウの［×］ボタンをクリックして閉じます。**

**14** **「サポートソフト」ディスクを抜きます。**



**15** **パソコンを再起動してください。**

**以上でフォーマットは終了です。**

**再起動後に、『マイコンピュータ』にアイコンが追加され、SCSI機器が使用できるようになります。**

## ASPIFORMの処理内容

### ≪対象ドライブがハードディスクの場合≫

| ｷｰ | 処理項目 | 処理内容 |
|---|---|---|
| I | ディスクタイプの確認 | ドライブ内のディスクが、どのフォーマット形式に従ってフォーマットされているかを判別します。 |
| F | FDISK<br>フォーマット | ドライブ内のディスクをフォーマットします。<br>フォーマットを行うとディスク上のデータはすべて消去されます。<br>・パーティション情報の表示<br>パーティションの情報を表示<br>・パーティションのフォーマット<br>パーティションを選択後、論理フォーマットを行う<br>**・パーティションの作成**<br>新規パーティションを作成し、論理フォーマットを行う<br>（この作業は必ず行ってください。）<br>・パーティションの削除<br>末尾のパーティションを削除<br>・ディスク初期化<br>物理フォーマットを行う |
| C | ディスクデータ消去 | ディスクのデータを消去します。<br>・簡易データ消去<br>データ管理情報部分のみを消去<br>・完全データ消去<br>ディスク上のすべての情報を消去 |

## ≪対象ドライブがリムーバブルディスク、MOの場合≫

**注意**

MOドライブ添付のフォーマッタをお使いください。添付フォーマッタが無い場合のみ、ASPIFORMでフォーマットしてください。

| キー | 処理項目 | 処理内容 |
|---|---|---|
| I | ディスクタイプの確認 | ドライブ内のディスクが、どのフォーマット形式に従ってフォーマットされているかを判別します。 |
| E | イジェクト | ドライブ内のディスクをイジェクトします。 |
| A | イジェクト許可 | 無効化されたイジェクトボタンを有効にします。<br>イジェクトボタンによるイジェクトが可能になります。 |
| P | イジェクト禁止 | イジェクトボタンを無効化します。イジェクトが許可されるまで、イジェクトボタンは効かなくなります。 |
| F | フォーマット | ドライブ内のディスクをフォーマットします。<br>フォーマットを行うとディスク上のデータはすべて消去されます。<br>・物理フォーマット<br>通常は必要ありません。<br>・論理フォーマット<br>MO,PDの場合はスーパーフロッピーフォーマットでフォーマット<br>・システム転送<br>PC-9821ｼﾘｰｽﾞでMOディスクを使用時のみ<br>・ボリュームラベル<br>ボリュームラベルの設定 |
| C | ディスクデータ消去 | ディスクのデータを消去します。<br>・簡易データ消去<br>データ管理情報部分のみを消去<br>・完全データ消去<br>ディスク上のすべての情報を消去 |
| S | 設定変更<br>(弊社製RM-MOシリーズ及びMOFシリーズのみ) | ライトキャッシュの設定を行います。<br>初期設定はOFFです。 |

ステップ２

# ② Windows2000での フォーマット方法

**Windows2000上でハードディスクをフォーマットする場合は、『ディスクの管理』を使用します。**

（『ディスクの管理』は『スタート』→『設定』→『コントロールパネル』内の『管理ツール』→『コンピュータの管理』をダブルクリックして開きます。）
『ディスクの管理』の詳細は、オンラインヘルプ、もしくは Windows2000の取扱説明書をご覧ください。

**注意**

**付属のフォーマッタASPIFORMはWindows98/95専用です。**
**Windows2000では使用しないでください。**

ステップ2

# ③ WindowsNTでのフォーマット方法

WindowsNTでは「ディスクアドミニストレータ」を使用してフォーマットしてください。

注意

**ハードディスクをフォーマットする際の注意**

1)付属のフォーマッタASPIFORMはWindows98/95専用です。
WindowsNTでは使用しないでください。

2)（PC-9821シリーズのみ）
Windows98/95でASPIFORMで複数のパーティションに分割したハードディスクを、PC-9821シリーズのWindowsNT4.0で使用する場合、「ディスクアドミニストレータ」を使用すると正常に動作しない場合があります。（詳細は、P70の③参照）

補足1

# ハードディスクの１パーティションの最大容量

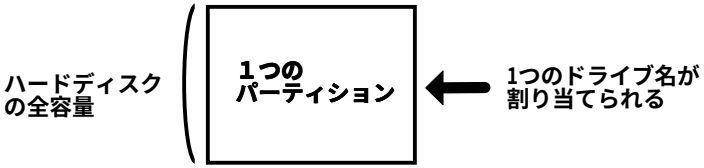
## パーティションについて

通常１台のハードディスクはいくつかのパーティション（区画領域）に分割して使用できます。
※複数作成できますが、１つ以上作成しなければ使用できません。

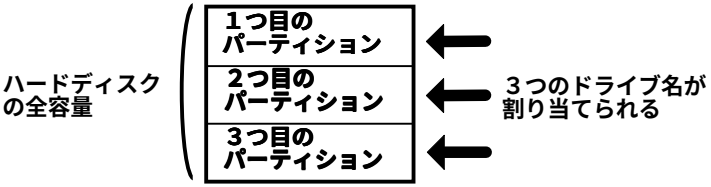
### ●１つのパーティション＝１つのドライブ

ハードディスクのパーティションは、作成したパーティション単位にドライブ名が割り当てられます。
分割したパーティション単位にドライブが割り当てられるため、１台のハードディスクを複数台のドライブがあるかのように利用できます。

例１）ハードディスクの全容量を１つのパーティションで使用する場合
ハードディスクのドライブ数（ドライブ名）は１つ割り当てられます。




例２）ハードディスクの全容量を３つのパーティションで使用する場合
ハードディスクのドライブ数（ドライブ名）は３つ割り当てられます。



# 1パーティションの最大容量

## OSにより1パーティションに割り当てられる最大容量に制限があります。

そのため、例えば、SCSI機器として弊社製HDVS-UM4.3G（ノーマルモード）をお使いの場合、Windows95（FAT16使用時）では、2,047Mバイトずつ、2パーティションに分割して使用することになります。

以下のWindows98/95上でのパーティションの作成は、付属のASPIFORMでの作成となります。

| OS | ﾌｧｲﾙｼｽﾃﾑ | 1パーティションの最大容量 |
|---|---|---|
| Windows98※1 | FAT32使用時 | 2Tバイトまで |
| | FAT16使用時 | 2,047Mバイトまで |
| Windows95※1 | FAT32使用時※2 | 2Tバイトまで |
| | FAT16使用時 | 2,047Mバイトまで |
| Windows2000 | NTFS使用時 | 408,000,000Tバイトまで |
| | FAT32使用時 | 2Tバイトまで |
| | FAT16使用時 | 2,047Mバイトまで |
| WindowsNT | NTFS使用時 | 408,000,000Tバイトまで |
| | FAT使用時 | 4,095Mバイトまで |

1Tバイト＝1,000Gバイト＝1,000,000Mバイト

**※1 PC-9821シリーズのWindows98/95で、ASPIFORMでフォーマットしたハードディスクは、他のSCSIインターフェイスでは制限があります。ご注意ください。（P70の③参照）**
**また、PC-9821シリーズのWindows95では、ハードディスクは最大8.4Gバイトまでしか使用できません。**

**※2 Windows95でFAT32が使用できるのは、Windows95バージョン4.00.950 B/4.00.950 Cのみです。（バージョンの確認は【Windows98/95のバージョンの確認方法(P72)】参照）**

# 付録1

# 困ったときには

**≪パソコンに取り付け時のトラブル≫**

| 状態 | 参照ﾍﾟｰｼﾞ |
|---|---|
| ボードが入らない | P88 |
| Windows98もしくはWindows95のロゴ表示のところでパソコンが止まる | |

**≪インストール時のトラブル(Windows98/95・Windows2000 の場合)≫**

| 状態 | 参照ﾍﾟｰｼﾞ |
|---|---|
| Windows98でインストール時の「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されない | P89 |
| Windows95でインストール時の「新しいﾊｰﾄﾞｳｪｱ」または「ﾃﾞﾊﾞｲｽﾄﾞﾗｲﾊﾞｳｨｻﾞｰﾄﾞ」画面が表示されない | |
| Windows2000でインストール時の「新しいハードウェアの検出ウィザード」の表示が無い | |

**≪インストール後のトラブル(Windows98/95･Windows2000 の場合)≫**

| 状態 | 参照ﾍﾟｰｼﾞ |
|---|---|
| インストール後の確認でデバイスマネージャに「その他のデバイス」として登録されている（Windows98/95の場合） | P89 |
| インストール後の確認でデバイスマネージャに「SCSIコントローラ」として登録されている（Windows2000の場合） | |
| インストール後の確認でデバイスマネージャのどこにも登録されていない | |
| インストール後の確認で「I-O DATA SC-NB Series PCI SCSI Host Adapter 」の頭に！マークがある | P90 |
| ドライバインストール後、パソコンが再起動中に止まる | |
| Windows95では正常だが、Windows98では正常にインストールされない（「I-O DATA SC-NB Series PCI SCSI Host Adapter」の頭に！マークが付く） | |

## ≪インストール後のトラブル(Windows98/95･Windows2000 の場合)　続き≫

| 状態 | 参照ﾍﾟｰｼﾞ |
|---|---|
| Windows98/95では正常だが、Windows2000では正常にインストールされない（「I-O DATA SC-NB Series PCI SCSI Host Adapter」頭に！マークが付く） | P90 |

## ≪インストール後のトラブル(WindowsNT4.0 の場合)≫

| 状態 | 参照ﾍﾟｰｼﾞ |
|---|---|
| インストール後の確認で「I-O DATA SC-NB Series PCI SCSI Host Adapter 」が［未起動］となっている | P90 |

## ≪ＳＣＳＩ機器使用時のトラブル≫

| 状態 | 参照ﾍﾟｰｼﾞ |
|---|---|
| SCSI機器使用中にデータエラーが発生する | P91 |
| SCSI機器のアクセスランプが点灯したまま、パソコンが止まる | |
| SCSI機器の動作がおかしい | |
| 以下のSCSI機器での動作がおかしい<br>スキャナ、CD-R(W)ドライブ、MOドライブ、プリンタ | P92 |
| Windows95では正常だが、Windows98ではSCSI機器が正常に動作しない | |
| Windows98/95では正常だが、Windows2000ではSCSI機器が正常に動作しない | |
| スキャナ（のドライバ）のデバイスマネージャでの表示で、頭に！マークが付く | |

## ≪ASPI 接続ビューア使用時のトラブル≫

| 状態 | 参照ﾍﾟｰｼﾞ |
|---|---|
| 「scnbun」が表示されない | P93 |

## ≪ASPIFORM 使用時のトラブル≫

| 状態 | 参照ﾍﾟｰｼﾞ |
|---|---|
| ASPIFORMで“対象ドライブが見つかりません。“と表示される | P93 |

## ≪特定のパソコンでのトラブル≫

| 状態 | 参照ﾍﾟｰｼﾞ |
|---|---|
| 富士通FMVシリーズで内蔵CD-ROMを認識しなくなった | P93 |
| PC-9821Xaで動作がおかしい | |
| PC-9821Xa7,9,10で動作がおかしい | |

## ≪その他のトラブル≫

| 状態 | 参照ﾍﾟｰｼﾞ |
|---|---|
| Windows98、Windows2000のスタンバイ機能が使えない | P94 |
| ドライバソフトのアップデート方法がわからない | |
| MS-DOSが使用できない | |
| 突然パソコンが起動しなくなった | |

## 参　考

**参考１：！マークがある場合の対処方法……P95**
**参考２：割り込みの空きを作るには　……P98**
**参考３：プラグ＆プレイに対応していないボードと一緒に使用する場合……P100**
**参考４：ドライバソフトをアップデート（更新）するには……P101**
- **Windows98でのドライバのアップデート方法……P102**
- **Windows95でのドライバのアップデート方法……P105**
- **Windows2000でのドライバのアップデート方法…P112**
- **WindowsNT4.0でのドライバのアップデート方法…P113**

**参考５：「その他のデバイス」として登録された場合の対処方法（Windows98/95の場合）　……P114**
- **Windows98での「その他のデバイス」の対処方法‥P115**
- **Windows95での「その他のデバイス」の対処方法‥P116**

**参考６：「SCSIコントローラ」として登録された場合の対処方法（Windows2000の場合）……P122**

# パソコンに取り付け時のトラブル

## ボードが入らない

**対処１**

本ボードのどの部分がひっかかって入らないか確認してください。
・ボードの裸金属部（コネクタがつけられている部分）がひっかかっている場合（P11 図参照）
　裸接触部の先の部分を、ボード側に少し軽く押さえてみてください。
　再度、入らないか試してみてください。
・金色の接触部の差しこみ口が入らない場合（P11 図参照）
　パソコン本体の PCI バススロット部分に、本ボードの金色の接触部がきちんと入っているか確認してください。

**対処２**

他の PCI バススロット用のボードがある場合は、そのボードを一旦取り外し、その取り外したスロットに本ボードが挿入できないか確認してみてください。
入らない場合でも、他のボードをその PCI バススロットに何度か抜き差しを行えば、入る場合もあります。

## Windows98もしくはWindows95のロゴ表示のところでパソコンが止まる

**対処１**

一旦パソコンの電源を切り、本ボードを他の PCI バススロットに取り付け直してみてください。

**対処２**

本ボード以外に SCSI インターフェイス機能が搭載されていないか（他社製 SCSI インターフェイスボード、オンボードタイプ等）確認してください。
搭載されている場合は、そのボードおよび機能等を外してください。

**対処３**

SCSI 機器を既に取り付けている場合には、SCSI 機器を取り外し、本ボードのみでも同じ現象となるか確認してください。
SCSI 機器を外して正常な場合には、ケーブルの接続不良やピン折れやピン曲がりがないか、また、SCSI 機器の設定を各 SCSI 機器の取扱説明書で再度確認してください。

**対処４**

【参考２】(P98)を参照し、割り込みの空きを作成してみてください。

# インストール時のトラブル(Windows98/95・Windows2000の場合)

**Windows98でインストール時の「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されない**

**Windows95でインストール時の「新しいﾊｰﾄﾞｳｪｱ」または「ﾃﾞﾊﾞｲｽﾄﾞﾗｲﾊﾞｳｨｻﾞｰﾄﾞ」画面が表示されない**

**Windows2000でインストール時の「新しいハードウェアの検出ウィザード」の表示が無い**

**対処1**　「デバイスマネージャ」→「その他のデバイス」等に誤認識しているドライバ（「PCI SCSI Bus Controller」）がないか確認してください。ある場合は、【参考５】(P114)を参照し、正しいドライバに変更してください。

**対処2**　プラグ＆プレイに対応していないボードと一緒に使用している場合は、【参考３】(P100)を参照してください。

**対処3**　一旦パソコンの電源を切り、本ボードを他のPCIバススロットに取り付け直してみてください。

**対処4**　【参考２】(P98)を参照し、割り込みを作成してみてください。

# インストール後のトラブル(Windows98/95・Windows2000の場合)

**インストール後の確認でデバイスマネージャに「その他のデバイス」として登録されている（Windows98/95の場合）**

**対処**　【参考５】(P114)を参照して正しいドライバに変更してください。

**インストール後の確認でデバイスマネージャに「SCSIコントローラ」として登録されている（Windows2000の場合）**

**対処**　【参考６】(P122)を参照して正しいドライバに変更してください。

**インストール後の確認でデバイスマネージャのどこにも登録されていない**

**対処**　上記【インストール時のトラブル】の対処方法を参照してください。

**インストール後の確認で「I-O DATA SC-NB Series PCI SCSI Host Adapter」の頭に！マークがある**

**対処**　【参考１】P95 を参照してください。

**ドライバインストール後、パソコンが再起動中に止まる**

**対処**　【Windows98 もしくは Windows95 のロゴ表示のところで止まる】(P88)の対処方法を参照してください。

**Windows95では正常だが、Windows98では正常にインストールされない（「I-O DATA SC-NB Series PCI SCSI Host Adapter」の頭に！マークが付く）**

**Windows98/95では正常だが、Windows2000では正常にインストールされない（「I-O DATA SC-NB Series PCI SCSI Host Adapter」の頭に！マークが付く）**

**対処1**　パソコン本体の BIOS が Windows98、Windows2000 対応になっているかご確認ください。（詳細は各パソコンメーカーにご確認ください。）

**対処2**　一旦パソコンの電源を切り、本ボードを他の PCI バススロットに取り付け直してみてください。

**対処3**　【参考２】(P98)を参照し、割り込みの空きを作成してみてください。

## インストール後のトラブル(WindowsNT4.0の場合)

**インストール後の確認で「I-O DATA SC-NB Series PCI SCSI Host Adapter」が［未起動］となっている**

**対処1**　一旦パソコンの電源を切り、本ボードを他の PCI バススロットに取り付け直してみてください。

**対処2**　【参考２】(P98)を参照し、割り込みの空きを作成してみてください。

**対処3**　プラグ＆プレイに対応していないボードと一緒に使用している場合は、【参考３】(P100)を参照してください。

# ＳＣＳＩ機器使用時のトラブル

## SCSI機器使用中にデータエラーが発生する

## SCSI機器のアクセスランプが点灯したまま、パソコンが止まる

**対処１**

ケーブルやターミネータ等の不良が考えられます。
代わりのケーブルに置き換えて再度お試しください。
（ケーブルはできるだけ短く、ハイインピーダンス仕様のものをお使いください。）

**対処２**

本ボードの設定を変更してみてください。

1. 該当 SCSI ID の SCSI 機器の同期転送速度を遅くしてみる。
   （【付録２】の「Sync.Transfer（同期データ転送）」(P129)の設定参照）
2. 該当 SCSI ID の SCSI 機器の同期転送を「Async」（非同期）に設定してみる。
   （【付録２】の「Sync.Transfer（同期データ転送）」(P129)の設定参照）
3. 該当 SCSI ID の SCSI 機器が、ディスコネクト動作に対応できない場合は、ディスコネクトを禁止する。
   （【付録２】の「Disconnection」（ディスコネクト）(P129)の設定参照）

**対処３**

SCSI 機器自体の不良も考えられます。
各 SCSI 機器メーカーにご相談ください。

**対処４**

ハードディスクの場合は、SCSI ID 番号を最初にしてお試しください。(1 台の場合は、SCSI ID=0)

## SCSI機器の動作がおかしい

**対処１**

SCSI 機器に接続しているケーブルのピンが折れていないか、ピンが曲がっていないか、接触不良が無いかを確認してください。

**対処２**

【参考２】(P98)を参照し、割り込みの空きを作成してみてください。

**対処３**

【SCSI 機器が使用できるか確認しよう】(P60)で正常な場合は、使用している SCSI 機器のメーカーにお問い合わせください。

**以下のSCSI機器での動作がおかしい**
**スキャナ、CD-R(W)ドライブ、MOドライブ、プリンタ**

**対処**

本ボードのBIOS設定で、該当SCSI IDのSCSI機器の設定を以下のように（①～④すべて）設定してください。

①【付録２】の「Wait After Bus Reset」を「５」に設定（P128参照）（「リセット時待ち時間」を「５」に設定）

②【付録２】の「Sync.Transfer（同期データ転送）」を「Async」（非同期）に設定（P129参照）

③【付録２】の「Disconnection」（ディスコネクト）を「No」（「ー」）に設定（P129参照）

④スキャナやプリンタの場合はSCSI IDを４番以降（４、５、６）に設定

**Windows95では正常だが、Windows98ではSCSI機器が正常に動作しない**

**Windows98/95では正常だが、Windows2000ではSCSI機器が正常に動作しない**

**対処**

SCSI機器がWindows2000またはWindows98に対応しているかご確認ください。

**スキャナ（のドライバ）のデバイスマネージャでの表示で、頭に！マークが付く**

**対処**

スキャナによっては、そのように表示される場合がありますが、正常に動作しますので、そのままお使いください。

# 「ASPI接続ビューア」使用時のトラブル

## 「scnbun」が表示されない

**対処**

「サポートソフト」のインストールが正しく行われていないことが考えられます。インストールが正常かを確認してください。

参考：以下の該当箇所を参照してください。

Windows98 の場合 ・・・・・ P15
Windows95 の場合 ・・・・・ P23
Windows2000 の場合 ・・・・ P33
WindowsNT4.0 の場合・・・・ P39

# 「ASPIFORM」使用時のトラブル

## ASPIFORMで“対象ドライブがみつかりません。”と表示される

**対処**

接続した SCSI 機器が正常に認識されていません。
ASPIFORM および Windows98/95 を終了し、一旦パソコンの電源を切って、SCSI 機器の電源や接続ケーブルの接続状態を再度確認してください。
【SCSI 機器が使用できるか確認しよう】(P60)も確認してみてください。

# 特定のパソコンでのトラブル

## 富士通FMVシリーズで内蔵CD-ROMを認識しなくなった

**対処**

パソコン本体の BIOS 設定で PCI バスに IRQ11 を使用しないように他の空いている IRQ に割り当てを行ってみてください。
（設定の詳細は、パソコン本体のマニュアルまたは富士通にお問い合わせください。）

## PC-9821Xaで動作がおかしい

**対処**

PCI セットアップディスクで、本ボードの挿入されているスロットのリソース割り当てを「固定」に設定しないでください。リソースを「固定」に設定すると、パソコン本体の PCI リソース設定が正しく行われず、本ボードが正常に動作しなくなります。

## PC-9821Xa7,9,10で動作がおかしい

**対処**

PCI バススロット #2 に取り付けてください。

# その他のトラブル

## Windows98、Windows2000のスタンバイ機能が使えない

**対処**　一部のパソコンでは、拡張ボードを取り付けると、スタンバイが正常に行われない場合があります。

## ドライバソフトのアップデート方法がわからない

**対処**　【参考４】(P101)を参照してください。

## MS-DOSで使用できない

**対処**　本製品は MS-DOS には対応しておりませんので、MS-DOS ではご利用いただけません。

## 突然パソコンが起動しなくなった

**対処1**　他の周辺機器を拡張スロットに増設してパソコンが起動しなくなった場合は、増設した周辺機器と割込みや I/O ポートアドレスなどが重複している場合があります。
その周辺機器の取扱説明書等で設定をご確認ください。

**対処2**　本ボードを取り外しても起動できない場合はパソコンが故障している可能性があります。パソコンのご購入先にお問い合わせください。

# 参考１　！マークがある場合の対処方法（Windows98/95・Windows2000の場合）

ここでは、Windows98/95およびWindows2000で「サポートソフト」インストール後に、デバイスマネージャの確認で、「I-O DATA SC-NB Series PCI SCSI Host Adapter」の頭に！マークがある場合の対処方法について説明します。

## 確認①　ケーブルを確認してみてください

1. パソコンの電源を切ります。
2. 一旦、本ボードからSCSI機器をケーブルごと取り外します。
3. パソコンの電源を入れて、デバイスマネージャで、「！」マークが消えていないかご確認ください。

**！マークが消えた場合**

ケーブルのピン折れ、ピン曲がりなどないかご確認ください。
ケーブルに問題がございましたら、ケーブルメーカーにご相談ください。
また、ケーブルに問題が見られない場合は、接続していたSCSI機器に問題があることが考えられます。各SCSI機器メーカーにご相談ください。

**！マークが消えない場合**

**次ページの確認へお進みください。**

### 確認②　[I-O DATA SC-NB Series PCI SCSI Host Adapter]を削除してみてください。

1. 表示されている[デバイスマネージャ]上の[I-O DATA SC-NB Series PCI SCSI Host Adapter]をクリックし、[削除]ボタンで削除します。
2. パソコンを再起動し、再度「サポートソフト」をインストールします。
   Windows98の場合……P15参照
   Windows95の場合……P23参照
   Windows2000の場合……P33参照
3. デバイスマネージャで、「！」マークが消えていないかご確認ください。

**！マークが消えた場合** → **本製品が使用できます。**

**！マークが消えない場合** → **以下の確認へお進みください。**

### 確認③　本ボードを別の PCI バススロットに取り付けてみてください。あるいは再度抜き差ししてみてください。

1. パソコンの電源を切ります。
2. 本ボードをPCIバススロットから取り外し、別のスロットに取り付けます。
   ※ 他のPCIバススロットがない場合には抜き差しを行ってください。
   ※ 他のPCIバススロットに他のボードが取り付けられている場合には、そちらのボードを一旦外し、本ボードをそのスロットに取り付けてみてください。
3. パソコンの電源を入れて、デバイスマネージャで、「！」マークが消えていないかご確認ください。

**！マークが消えた場合** → **本製品が使用できます。**

**！マークが消えない場合** → **次ページの確認へお進みください。**

### 確認④　お使いのパソコンに、本ボード以外に SCSI インターフェイス機能が搭載されていないか確認してみてください。
（Windows98/95のみ）

Windows98/95の仕様により、SCSIインターフェイス（ボード）を複数同時に使用することはできません。
そのため、既にSCSIインターフェイス（ボード）を使用されている場合は、無効にするか、取り外してください。
また、パソコン本体にオンボードでSCSIインターフェイスが搭載されている場合にも、そちらの機能を、無効にしてください。
（詳細については、パソコン本体メーカーにご確認ください。）
取り外せない、または無効にできない場合、本製品は使用できません。

| | |
|---|---|
| **！マークが消えた場合** | **本製品が使用できます。** |
| **！マークが消えない場合** | **以下の確認へお進みください。** |

### 確認⑤　割り込み(IRQ)の空きを確認してみてください。

次ページ【割り込みの空きを作るには】参照。

空いているリソースがあっても、パソコン本体に既に予約されている場合がありますので、空きを作ってみてください。

# 参考２　割り込みの空きを作るには

本ボードが正常に動作しない場合等は、割り込み（IRQ）の空きが無いことが原因の１つとして考えられます。（以下の【参考：割り込み(IRQ)の空きについて】参照）

1. 他の機能を外す、他のボードを外すなどをして空きを作ってください。（詳細はパソコンメーカーにご確認ください。）
2. 空きを作成後、再起動して本ボードおよびSCSI機器が正常に動作するかご確認ください。

**参考**

**DOS/Vマシンでは、パソコン本体(マザーボード)のBIOSセットアップメニューで設定できる場合もあります。**
**PC-9821シリーズでは「PCIセットアップディスク」で、それぞれ設定できる場合もあります。**
**詳細は各パソコンメーカーにご確認ください。**
**また、取り付けているボードの取扱説明書も参照してください。**

**参考**

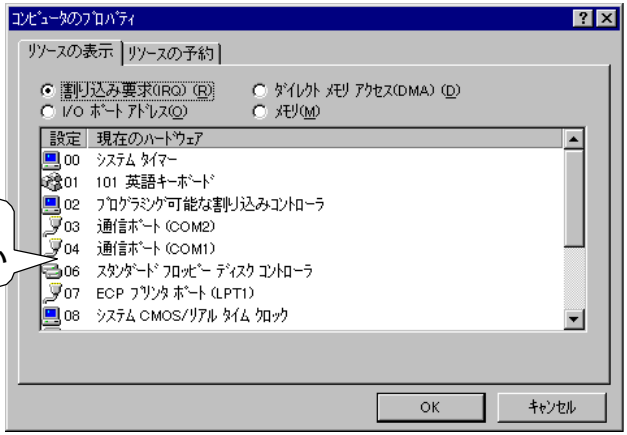
**【割り込み(IRQ)の空きについて】**
**本ボードはパソコン本体の割り込み（IRQ）を使用します。**
**ただし、本ボードはプラグアンドプレイ対応ボードで、パソコン本体側ですべて自動的にリソース（IRQ等）が割り振られるため、本ボード側でIRQの指定ができません。**
**そのため、IRQの空きの確認（パソコン本体側のリソース（IRQ等）の割り振りが正常か）など確認が必要となります。**
**次ページに参考としてWindows98/95での割り込み(IRQ)の空きの確認方法を説明しています。**

## Windows98/95で割り込み(IRQ)の空きを確認する方法

1. パソコン及び周辺機器の電源を切ります。
2. 本ボードをパソコンから取り外します。
3. 以下の手順で割り込み（IRQ）リソースが空いているかを確認します。

   1) 『ﾏｲｺﾝﾋﾟｭｰﾀ』を右クリックし、表示された「ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」を右クリックします。
   2) [ﾃﾞﾊﾞｲｽﾏﾈｰｼﾞｬ]タブをクリックします。
   3) [ﾃﾞﾊﾞｲｽﾏﾈｰｼﾞｬ]タブで[ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ]が選択された状態で[ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]ボタンをクリックすると、[ｺﾝﾋﾟｭｰﾀのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]画面が表示されます。
   [ｺﾝﾋﾟｭｰﾀのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]画面で割り込み（IRQ）リソースが空いているかを確認できます。

（以下の画面では、IRQ5が使用されていない（空いている）ことが分かります。）




「0」から「15」のIRQが全て何らかのデバイスによって使用されている場合、割り込みの空きが無い状態です。

**参考**

**上記画面中に「PCI ステアリング IRQ ホルダ」がある場合があります。**
**「PCI ステアリング IRQ ホルダ」が使用しているIRQは共用できます。**
**「PCI ステアリング IRQ ホルダ」のみの場合は、そのIRQも使用できます。**

# 参考３　プラグ＆プレイに対応していないボードと一緒に使用する場合

お使いのパソコンで、プラグ＆プレイに対応していないボードをすでに使用している場合、以下の方法でそれぞれ設定してください。

| | |
|---|---|
| DOS/Vマシン | パソコン本体（マザーボード）のBIOSセットアップメニュー |
| PC-9821シリーズ | 「PCIセットアップディスク」 |

また、そのボードの取扱説明書も参照してください。

詳細は各パソコンメーカーにお問い合わせください。（リソースの変更方法に関しては、パソコン本体の取扱説明書を参照してください。）

リソース割り当ての変更ができない場合には、そのボードを取り外し、本ボードと必要に応じて使い分けてください。

**注意**

**PC-9821シリーズで汎用拡張スロット用のプラグ＆プレイ対応ボードを使用すると、ボードを取り外した後もリソース情報が記憶されているため、「割り込み(IRQ)」や「I/Oポートアドレス」を正しく設定できないことがあります。**
**このような場合は、PCIセットアップディスクを使用し、取り外したボードのリソース情報を削除してから再度パソコンを起動してください。**
**（方法はパソコン本体の取扱説明書を参照してください。）**

# 参考４　ドライバソフトをアップデート(更新)するには

弊社では、「サポートソフト」をバージョンアップすることがあり、そのとき、バージョンアップした「サポートソフト」を弊社ホームページ上等に公開しています。
必要に応じて、「サポートソフト」の最新バージョンを入手し、次ページ以降の手順にてアップデートを行ってください。


Windows98をお使いの場合 → 次ページ参照

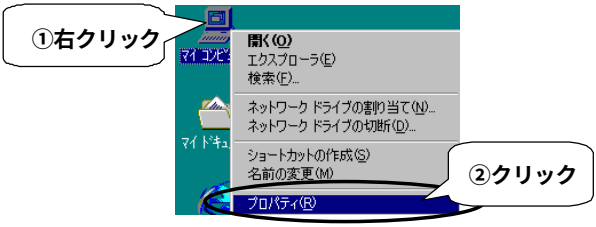
Windows95をお使いの場合 → P105参照

Windows2000をお使いの場合 → P112参照

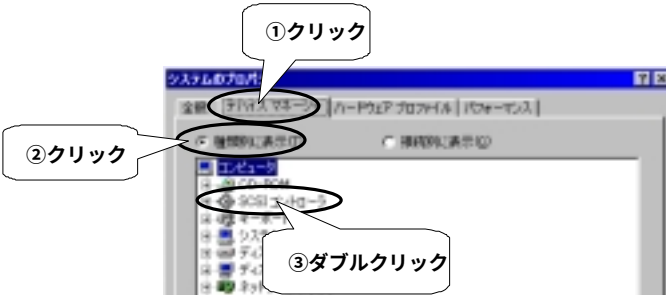
WindowsNT4.0をお使いの場合 → P113参照

## Windows98でのドライバのアップデート方法

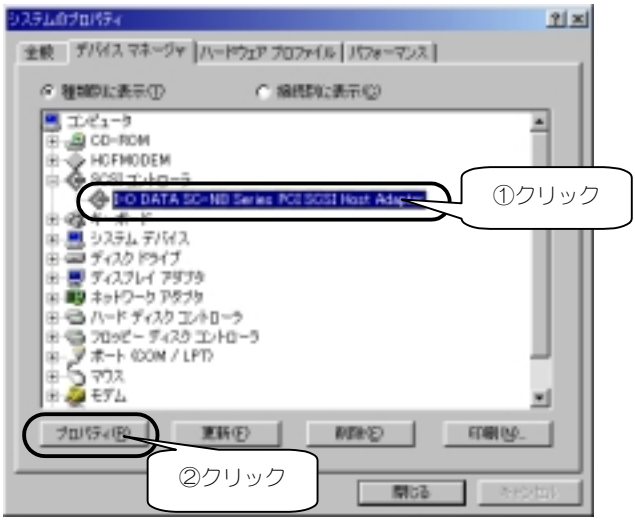
**1** **『マイコンピュータ』を右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。**



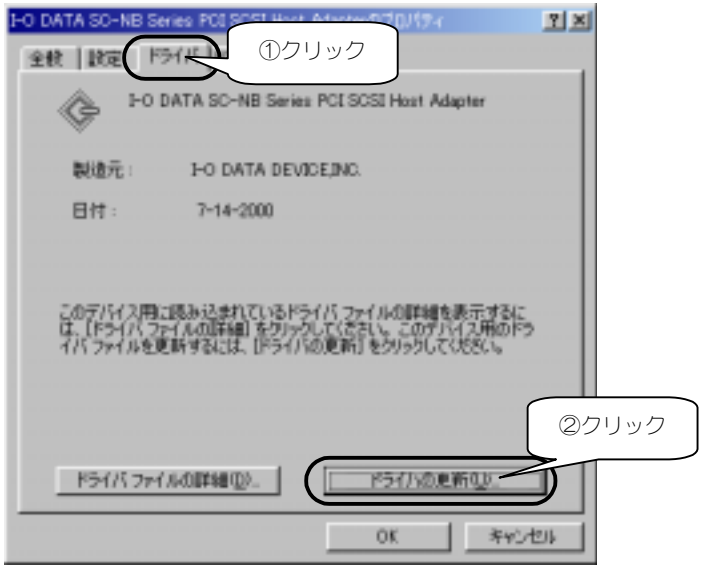

**2** **「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「種類別に表示」での「SCSIコントローラ」をダブルクリックします。**



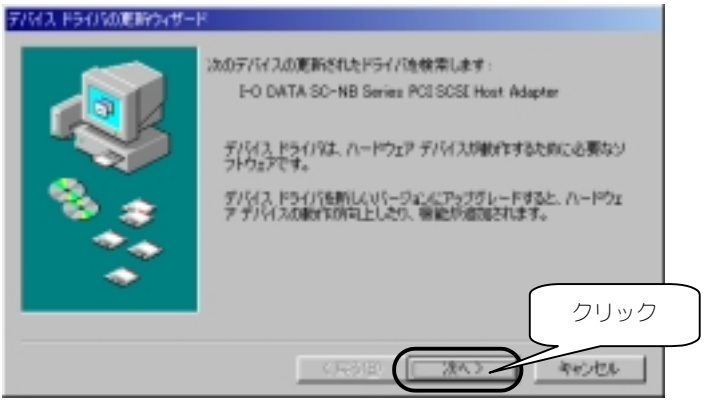
**3** **［I-O DATA SC-NB Series PCI SCSI Host Adapter］をクリックし、［プロパティ］ボタンをクリックします。**



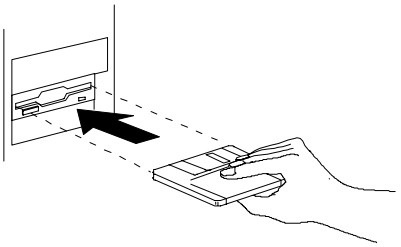

**4** **［ドライバ］タブをクリックし、［ドライバの更新］をクリックします。**



**5**　**［次へ］をクリックします。**



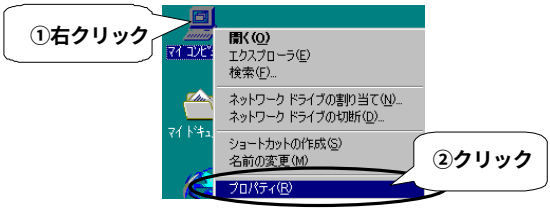

**6**　**最新バージョンの「サポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入します。**



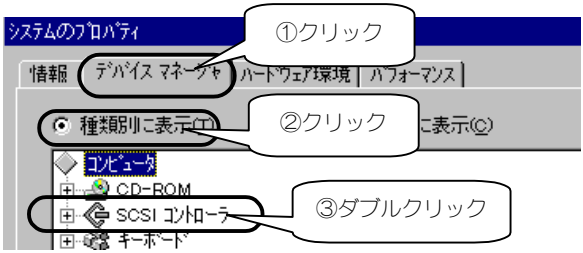
**後はWindows98でのドライバのインストール手順と同様です。**
**【Windows98へインストールする】の手順５（P17）以降を参照してください。**
**（更新後、プロパティ画面を閉じてください。）**

## Windows95でのドライバのアップデート方法

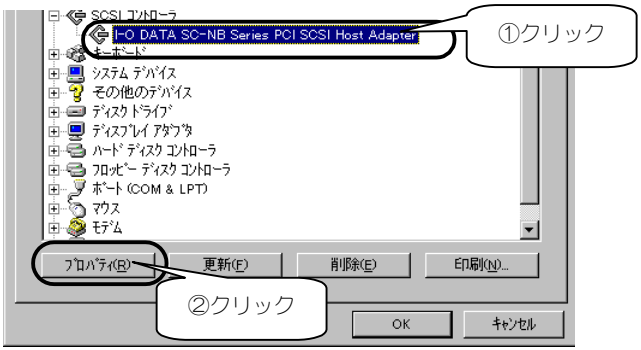
**1** **『マイコンピュータ』を右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。**




**2** **「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「種類別に表示」での「SCSIコントローラ」をダブルクリックします。**

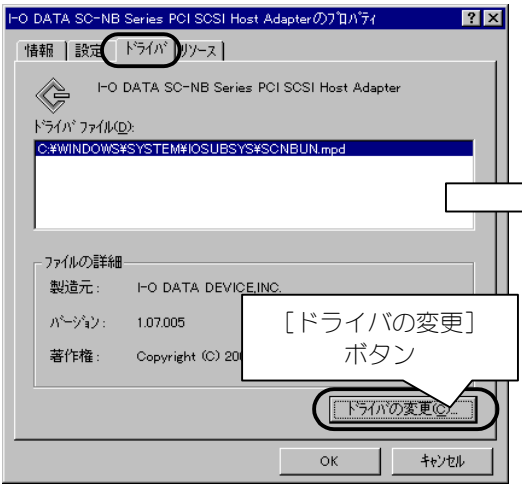



**3** **［I-O DATA SC-NB Series PCI SCSI Host Adapter］をクリックし、［プロパティ］ボタンをクリックします。**



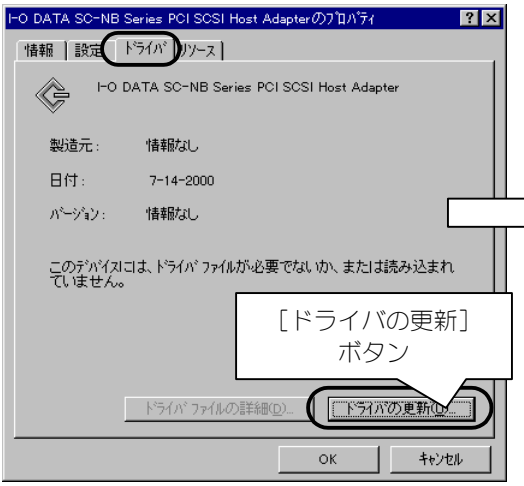
**4** **［ドライバ］タブをクリックします。**
**Windows95のバージョンによって、［ドライバの変更］ボタンと［ドライバの更新］ボタンのいずれかがあります。**

**●［ドライバの変更］ボタンがある場合**




**ボタンをクリック後、次ページへお進みください。**

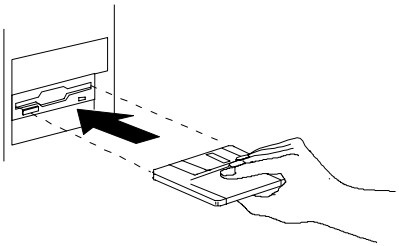
**●［ドライバの更新］ボタンがある場合**



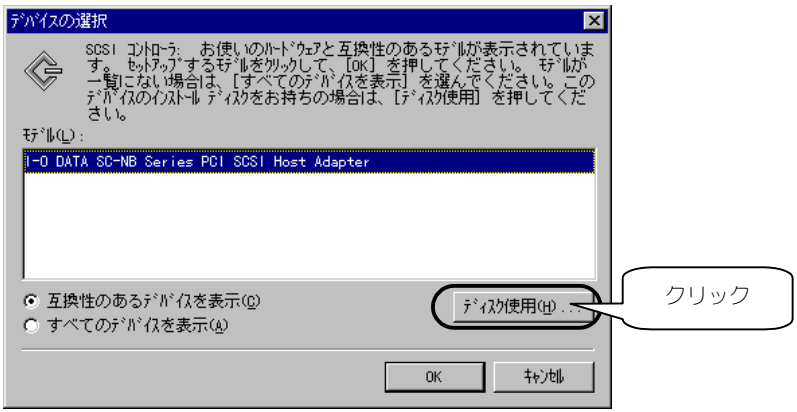

**ボタンをクリック後、P110へお進みください。**

## ［ドライバの変更］ボタンの場合

**1** **最新バージョンの「サポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入します。**

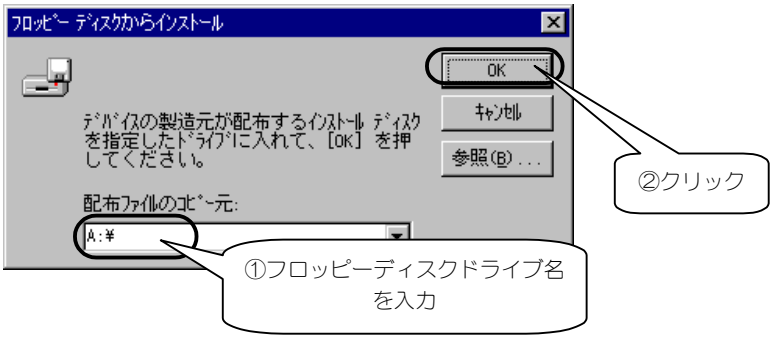


**2** **［ﾃﾞｨｽｸ使用］をクリックします。**

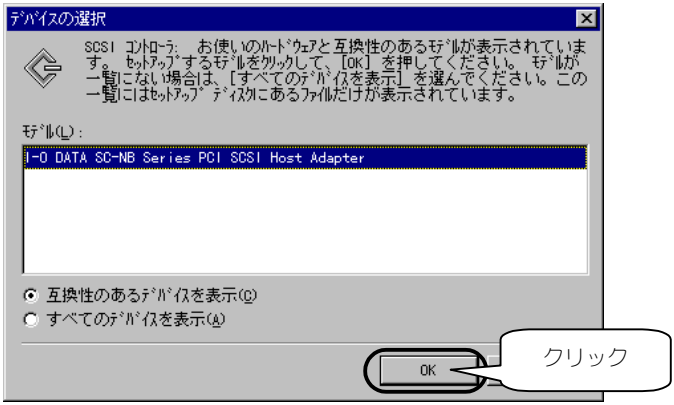



**3** **フロッピーディスクドライブ名を入力し、［OK］をクリックします。**

例）　A:¥　（フロッピーディスクドライブが A ドライブの場合）



## 4 [OK]をクリックします。




## 5 [OK]をクリックします。

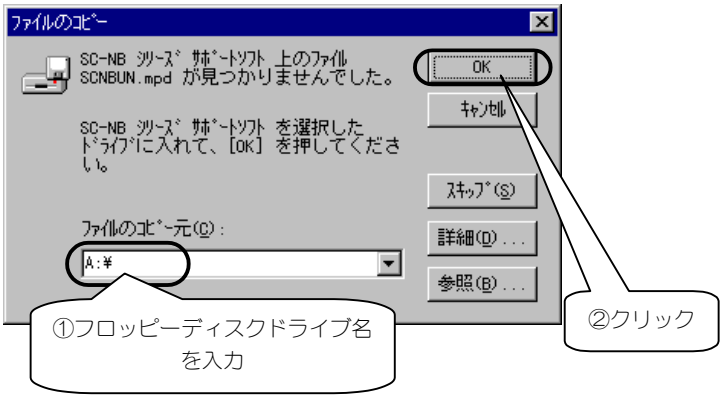


**6** **以下の画面が表示された場合は、［OK］をクリックします。**




**フロッピーディスクドライブ名を指定後、［OK］をクリックします。**

**例）　A:¥　（フロッピーディスクドライブが A ドライブの場合）**

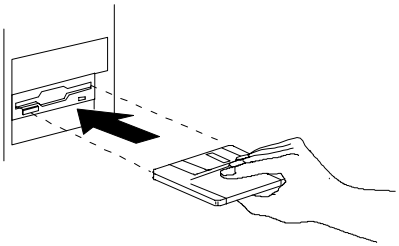



**7** **［閉じる］をクリックします。**

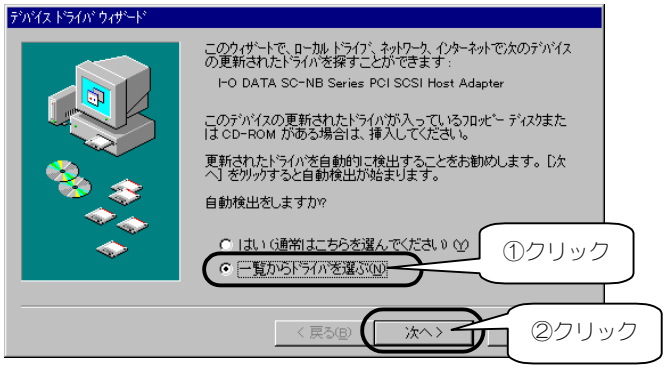
**以上でWindows95でのドライバのアップデートは終了です。**

## ［ドライバの更新］ボタンの場合

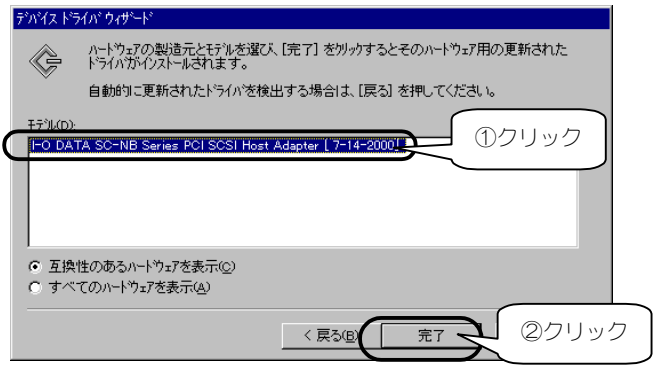
**1** **最新バージョンの「サポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入します。**



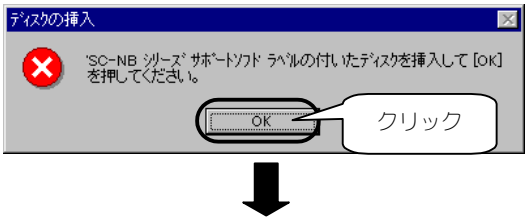
**2** **［一覧からﾄﾞﾗｲﾊﾞを選ぶ］をクリックし、［次へ］をクリックします。**




**3** **［I-O DATA SC-NB Series PCI SCSI Host Adapter］と表示されていることを確認後、［完了］をクリックします。**

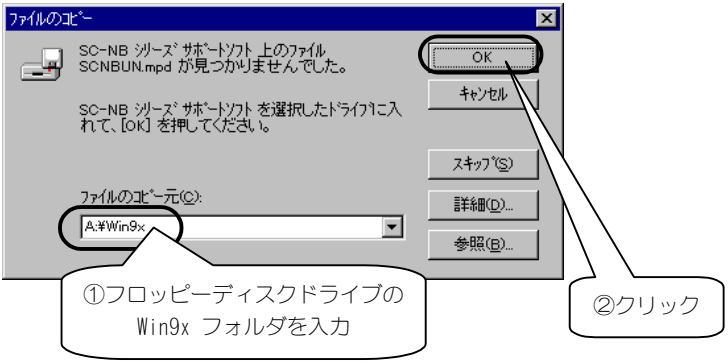


**4** **以下の画面が表示された場合は、［OK］をクリックします。**




**フロッピーディスクドライブの Win9x フォルダを指定後、［OK］をクリックします。**

**例）　A:¥Win9x　（フロッピーディスクドライブが A ドライブの場合）**

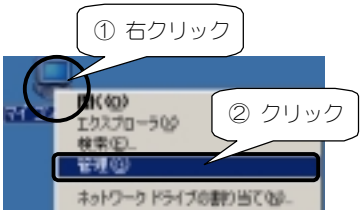



**5** **［閉じる］をクリックします。**

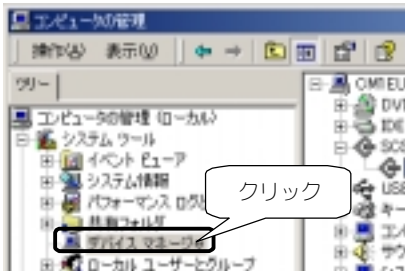
**以上でWindows95でのドライバのアップデートは終了です。**

## Windows2000でのドライバのアップデート方法

**1** **『マイコンピュータ』を右クリックし、表示された［管理］をクリックします。**

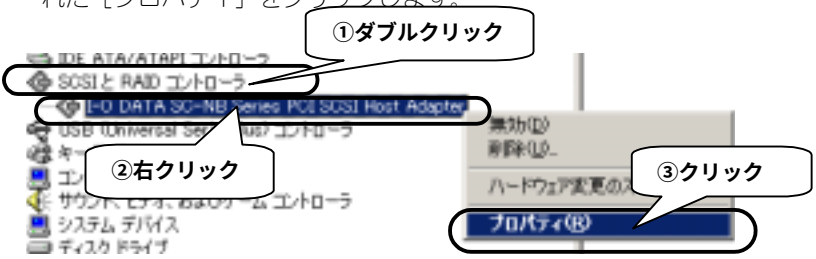



**2** **［デバイスマネージャ］をクリックします。**




**3** **本ボードのプロパティを開きます。**

［SCSIとRAIDコントローラ］をダブルクリックし、下にある［I-O DATA SC-NB Series PCI SCSI Host Adapter］の表示を右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。




**後はWindows2000でのドライバのインストール手順と同様です。【Windows2000へインストールする】の手順３(P34)以降を参照してください。**

**※サポートソフトは入手した最新の「サポートソフト」ディスクを使用してください。**

## WindowsNT4.0でのドライバのアップデート方法

**1** **『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』→『SCSIｱﾀﾞﾌﾟﾀ』の「ドライバ」タブをクリックします。**

**2** **「I-O DATA SC-NB Series PCI SCSI Host Adapter」をクリックし、［削除］ボタンで一旦削除します。**

**3** **パソコンの電源を一旦切ります。**

**後は通常のインストール手順（【WindowsNT4.0へインストールする】P40の手順１から）にしたがって、再度インストールを行ってください。**

その際、最新バージョンの「サポートソフト」ディスクをご使用ください。

# 参考５　「その他のデバイス」として登録された場合の対処方法（Windows98/95の場合）

ここでは、Windows98/95の「サポートソフト」インストール後での、デバイスマネージャの確認で、本ボードが「その他のデバイス」の下に「PCI SCSI Bus Controller」として登録された場合の対処方法について説明します。

**参考**

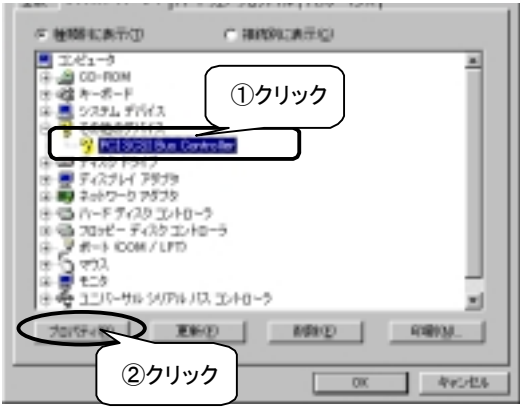
**「PCI SCSI Bus Controller」として登録されているのは、「サポートソフト」を正しくインストールできなかった場合です。**
**次ページ以降の手順で、［ドライバの更新］ボタン（または［ドライバの変更］ボタン）を使って「PCI SCSI Bus Controller」→「I-O DATA SC-NB Series PCI SCSI Host Adapter」に変更します。**

**Windows98をお使いの場合** → **次ページ参照**

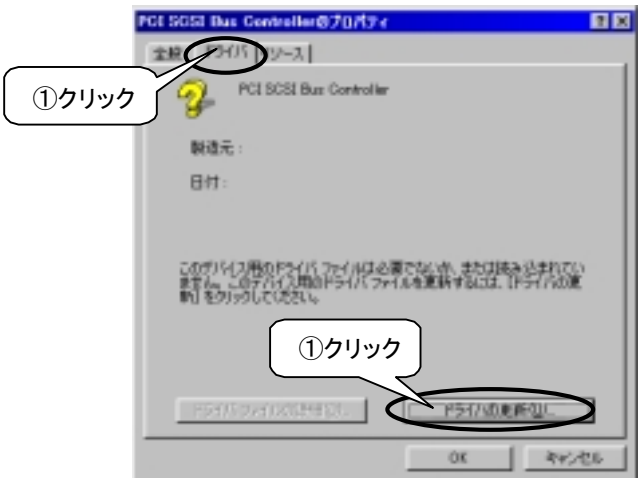
**Windows95をお使いの場合** → **P116参照**

## Windows98での「その他のデバイス」の対処方法

**1**　**「PCI SCSI Bus Controller」をクリックし、［プロパティ］をクリックします。**



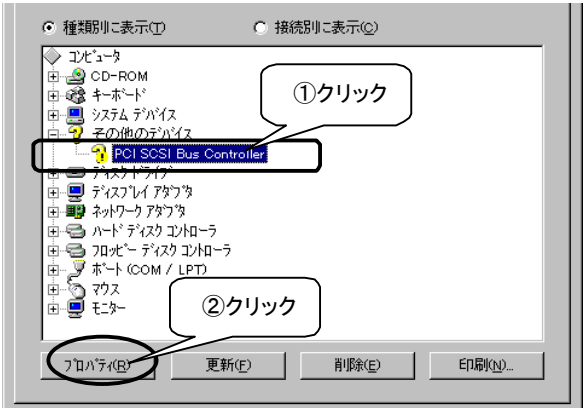

**2**　**［ドライバ］タブの［ドライバの更新］をクリックします。**



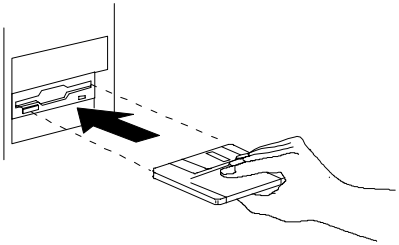

**後はWindows98でのドライバのインストール手順と同様です。【Windows98へインストールする】(P16)の手順２以降を参照してください。**

## Windows95での「その他のデバイス」の対処方法

**1** **「PCI SCSI Bus Controller」をクリックし、［プロパティ］をクリックします。**




**2** **「サポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入します。**



**この後、手順３以降は、Windows95のバージョンによって画面が異なります。**
**画面を確認してお進みください。**

**3** **Windows95のバージョンによって、［ドライバの変更］ボタンと［ドライバの更新］ボタンのいずれかがあります。**

**●［ドライバの変更］ボタンがある場合**




**ボタンをクリック後、次ページへお進みください。**

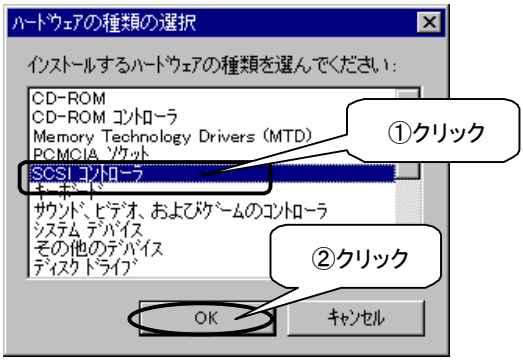
**●［ドライバの更新］ボタンがある場合**




**ボタンをクリック後、P120へお進みください。**

## ［ドライバの変更］ボタンの場合

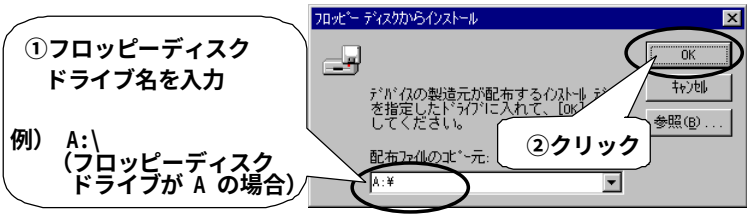
**1**　『SCSIｺﾝﾄﾛｰﾗ』をクリックし、［OK］をクリックします。



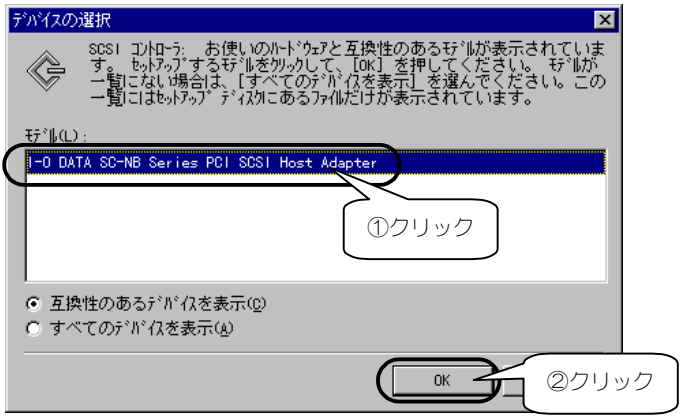

**2**　［ﾃﾞｨｽｸ使用］をクリックします。




**3**　フロッピーディスクドライブ名を指定し、［OK］をクリックします。



**4**　**[I-O DATA SC-NB Series PCI SCSI Host Adapter]と表示されていることを確認後、[OK]をクリックします。**




**5**　**[OK]をクリックします。**

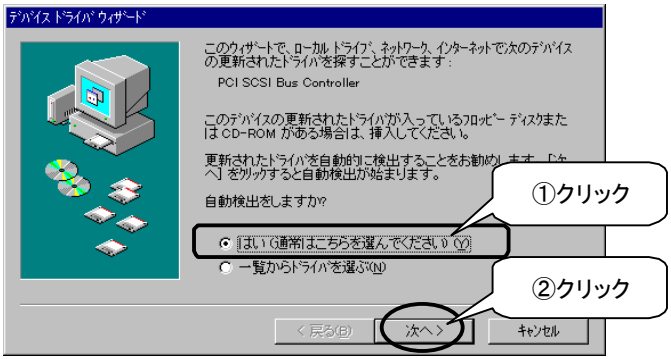
インストールが開始されます。



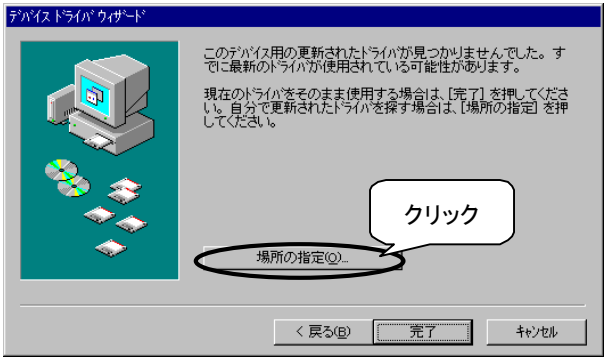

**以上で終了です。**

## ［ドライバの更新］ボタンの場合

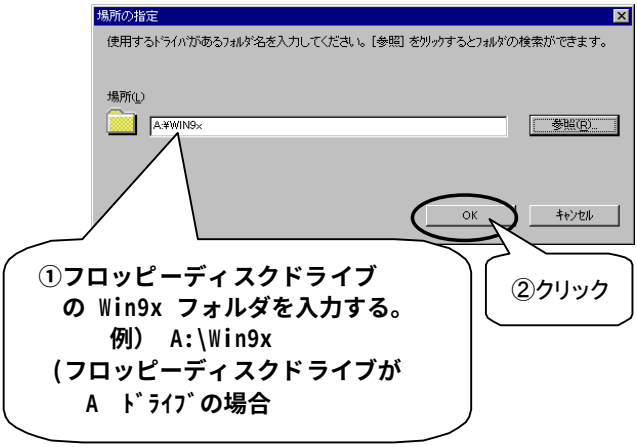
**1**　**「はい（通常はこちらを選んでください）」をクリックし、［次へ］をクリックします。**



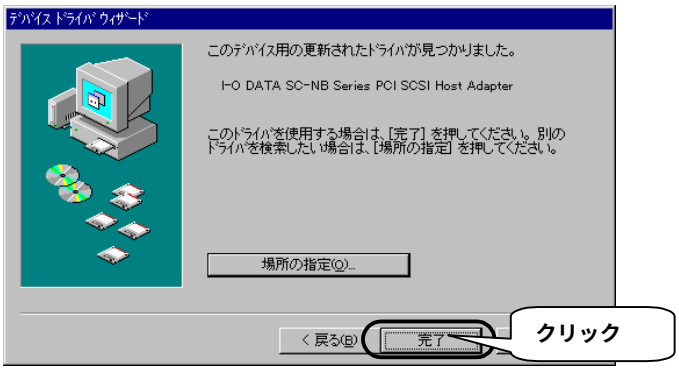

**2**　**以下の画面が表示された場合は、［場所の指定］をクリックします。**



**3** フロッピーディスクドライブの Win9x フォルダを指定後、［OK］をクリックします。




**4** ［完了］をクリックします。



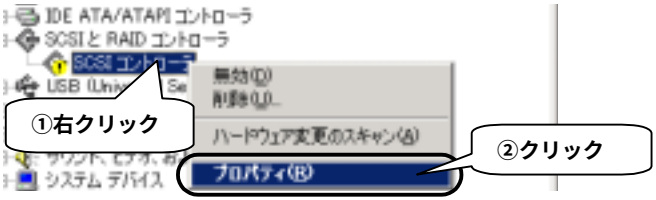

後はWindows95でのドライバのインストール手順（「デバイスドライバウィザード」画面が表示された場合）と同様です。
P28の手順４以降を参照してください。

# 参考６　「ＳＣＳＩコントローラ」として登録された場合の対処方法(Windows2000の場合)

ここでは、Windows2000で「サポートソフト」インストール後の、デバイスマネージャでの確認で、本ボードが［SCSIとRAIDコントローラ］の下に「SCSIコントローラ」として登録された場合の対処方法について説明します。

## 1　［ＳＣＳＩコントローラ］のプロパティを開きます。

［SCSIコントローラ］の表示を右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。




**後はWindows2000でのドライバのインストール手順と同様です。【Windows2000へインストールする】の手順３(P34)以降を参照してください。**

# 付録2

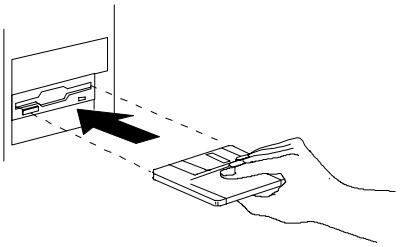
# 設定ユーティリティ

ここでは、各SCSI機器や本ボードの設定を変更するユーティリティについて説明します。
本ユーティリティで、データ転送モードや接続しているSCSI機器の各種設定（転送速度, ディスコネクト等）を変更できます。

## 起動するには

**1** **Windowsを終了して、パソコンの電源を切ります。**

**2** **「サポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入します。**



**3** **パソコンの電源を入れます。**

本ボードが、パソコンに正しく取り付けられていることを確認し、パソコンの電源を入れます。

**4　しばらくすると、「SC-NB Series Configuration Utility」画面が表示されます。**

PC98-NXシリーズおよびDOS/Vマシンでは英語表示の画面です。
PC-9821シリーズの場合は日本語表示の画面です。

## 終了するには

**1　「サポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブから取り出します。**

**2　そのまま、リセットボタン等でパソコンを再起動してください。**

# 操作する

## ① 本ボードの取り付けの確認

ユーティリティ起動後、パソコンに本ボードを取り付けていない場合には、以下の画面となります。取り付けを確認してください。
正常な場合は表示されません。

PC98-NXｼﾘｰｽﾞ及びDOS/Vﾏｼﾝの場合

| Board Selection |
| --- |
| No SC-NB Series found. |
| Enter/ESC:OK |

PC-9821ｼﾘｰｽﾞの場合

| ボード選択 |
| --- |
| SC-NBシリーズが見つかりません. |
| RET/ESC:確認 |

## ② 本ボードの選択

パソコンに本ボードを複数枚取り付けている場合には、まず設定変更の対象となるボードを選択します。
本ボードを１枚しか取り付けていない場合には、この画面は表示されません。

PC98-NXｼﾘｰｽﾞ及びDOS/Vﾏｼﾝの場合

| Board Selection |
| --- |
| Choose the board to configure.<br>SC-NB Series on Bus #0 Device #8<br>SC-NB Series on Bus #0 Device #9<br>SC-NB Series on Bus #0 Device #10<br>SC-NB Series on Bus #0 Device #11 |
| ↑↓:Move Enter:Select ESC:Cansel |

PC-9821ｼﾘｰｽﾞの場合

| ボード選択 |
| --- |
| 設定するボードを選択してください.<br>Bus #0 Device #8 のSC-NBシリーズ<br>Bus #0 Device #9 のSC-NBシリーズ |
| ↑↓:移動 RETURN:選択 ESC:中止 |

## ③ 設定情報の確認

ボードの設定に入る前に、設定を変更しようとするボードの現在の設定情報が正しいかどうかの確認が行われます。設定情報が不正な場合は以下の画面が表示されます。
正常な場合は表示されません。

PC98-NXｼﾘｰｽﾞ及びDOS/Vﾏｼﾝの場合

```
Configuration
Current Setting Invalid.
Please reconfigure settings.
Enter/ESC:OK
```

PC-9821ｼﾘｰｽﾞの場合

```
設定変更
現在の設定情報は不正です.
再設定してください.
RET/ESC:確認
```

**<対処方法>**　※ 以下の各手順のキーの()内はPC-9821シリーズの場合

1. [Enter]キー（[RET]キー：↵キー）を押します。
2. [Home]キー（[HOME CLR]キー）を押します。
3. 「Initialize Default Setting」画面が表示されますので、[Initialize]を選択します。
4. 後は変更したい項目を変更してください。（次ページ参照）

## ④ 設定内容の変更

本ボード及び接続している各SCSI機器に対しての設定を行います。
※ 以下の画面は、出荷時設定時の画面例です。

PC98-NXｼﾘｰｽﾞ及びDOS/Vﾏｼﾝの場合

```
Data Transfer Mode     BusMaster
Wait After Bus Reset   0
On Board Terminator    Auto

 ID Sync.Transfer    Disconnection
 0      20MB/S          Enable
 1      20MB/S          Enable
 2      20MB/S          Enable
 3      20MB/S          Enable
 4      20MB/S          Enable
 5      20MB/S          Enable
 6      20MB/S          Enable
 7   SC-NB Series    SC-NBUN Series
```

PC-9821ｼﾘｰｽﾞの場合

```
転送モード                BusMaster
リセット時待ち時間            0
ボード上のターミネータ        自動

ID   同期データ転送      ディスコネクト
0        20MB/S            する
1        20MB/S            する
2        20MB/S            する
3        20MB/S            する
4        20MB/S            する
5        20MB/S            する
6        20MB/S            する
7     SC-NBシリーズ     SC-NBシリーズ
```

画面に表示される説明を参考にして、必要な設定を行ってください。

**＜キー項目＞**　　以下のキー項目の括弧内はPC-9821シリーズの場合

| キー項目 | 機能 |
|---|---|
| [↑][↓][←][→] | カーソルを１つ上下左右に移動します。 |
| [Page Up](ROLL UP)<br>[Page Down](ROLL DOWN)<br>[Space] | カーソル位置の設定を変更します。 |
| [Home]（[HOME CLR]） | すべての設定内容を出荷時設定に戻します。 |
| ↵ | 表示されている設定内容を保存して、設定画面から抜けます。 |
| [ESC] | 表示されている設定内容を破棄して、設定画面から抜けます。 |

## 設定内容の詳細

（設定項目及び設定値の()内はPC-9821ｼﾘｰｽﾞの場合）

| 設定項目 | 設定値<br>(以下の設定値の＿は初期値) | 概略 |
|---|---|---|
| Transfer Mode<br>(転送モード) | BusMaster/PIO | データ転送モードです。<br>**「BusMaster」**<br>バスマスタによる高速転送を行います。<br>CPU占有率が軽減されます。<br>通常は、この設定でお使いください。<br>**「PIO」**<br>PIO（Programed IO）転送を行います。<br>BusMasterで動作がおかしい場合に設定してください。 |
| Wait After<br>Bus Reset<br>(リセット時<br>待ち時間) | 0～20　（秒） | SCSIリセット後の追加終了の待ち時間です。<br>待ち時間が短い方が、パソコンが起動するのにかかる時間が短縮できますが、使用するSCSI機器によっては、長めに設定する必要がある場合があります。 |
| On Board<br>Transfer<br>(ボード上の<br>ターミネータ) | AUTO/Disable<br>(自動／無効) | ボード上のSCSIターミネータを強制的に無効化するかどうかの設定です。<br>ボードの外部接続用コネクタと内部接続用コネクタの両方にSCSI機器を接続している場合で、自動ターミネーションが正しく機能しない場合に、「無効」に設定してください。 |

（設定項目及び設定値の()内はPC-9821ｼﾘｰｽﾞ の場合）

| 設定項目 | 設定値<br>(以下の設定値<br>の＿は初期値) | 概略 |
|---|---|---|
| Sync.Transfer<br>(同期データ転送) | 20MB/S<br>/10MB/S<br>/5MB/S<br><br>/Disable(非同期) | 各SCSI-IDのSCSI機器に対しての、同期データ転送速度の上限の設定です。<br>同期データ転送に関する不具合のあるSCSI機器を接続する場合には、「Disable」(非同期)に設定してください。<br>**該当SCSI機器：**<br>弊社製CDR-VX24,CDR-VB24, CDG-SX4,<br>CDG-PX44,<br>スキャナ,<br>Quantum製 Viking,<br>Panasonic製 LF-3200,<br>NEC製 PC-OD302,<br>OLYMPUS製 MO等 |
| Disconnection<br>(ディスコネクト) | Enable/Disable<br>(する／しない) | 各SCSI-IDのSCSI機器に対して、ディスコネクト動作を許可するかどうかの設定です。この設定を「する」にして、Windowsのデバイスマネージャの「切断」のチェックを付けた場合にのみ、ディスコネクト動作が許可されます。<br>ディスコネクト処理に関する不具合のあるSCSI機器を接続する場合は、「しない」に設定してください。<br>**該当SCSI機器：**<br>弊社製CDR-VX24,CDR-VB24、CDG-SX2等 |

# 付録3

# Windows2000のインストール

ここでは、Windows2000を新規にインストールする際や、Windows98/95やWindowsNT4.0からアップグレードインストールする際に、本ボード用のドライバのインストールについて説明います。
必要な箇所をお読みください。

**注意**

**1)お使いのパソコンで、Windows2000を使用するには、パソコンがWindows2000に対応している必要があります。（パソコンによっては、BIOSのアップデートが必要な場合があります。）**
**事前にパソコンメーカー等から提供されている情報で注意事項や制限事項を確認してください。**
**その上で、本書をお読みになり、Windows2000のインストールまたはWindows2000へのアップグレードを行ってください。**
**2)WindowsNT4.0からWindows2000へアップグレードを行う場合には、Administrator権限でログインする必要があります。**


**① 起動ディスクを使って新規インストールする場合 ……P１３１**
**② Windows98/95/NT4.0上から新規インストールする場合 ……P１３５**
**③ Windows98/95からアップグレードする場合 ……P１３６**
**④ WindowsNT4.0からアップグレードする場合 ……P１４０**

# 起動ディスクを使って新規インストールする場合

ここでは、本ボードを取り付けた状態で、Windows2000起動ディスクを使って、Windows2000をインストールする手順について説明します。

**注意**

**1)本ボードに接続したCD-ROMドライブからWindows2000を新規にインストールすることはできません。**
**2)本ボードに接続したハードディスクにWindows2000をインストールすることはできません。**
**3)以下の手順で使用する［Windows2000フロッピーディスク１および２］は、Windows2000取扱説明書を参照して、お客様ご自身でご用意ください。**

## *1* 用意した「Windows2000フロッピーディスク1」を挿入し、起動します。



**2** **数秒間だけ下記の画面が表示されますので、この画面が表示されている間に[F6]キーを押します。**

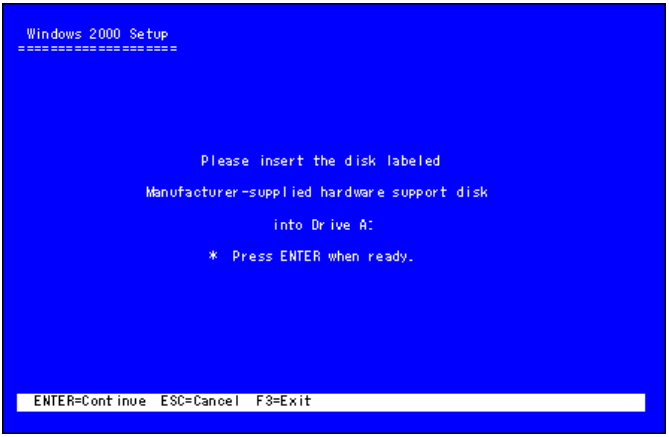
[F6]を押しても、特に画面上の変化はありません。しばらくすると、手順**3**の画面になります。



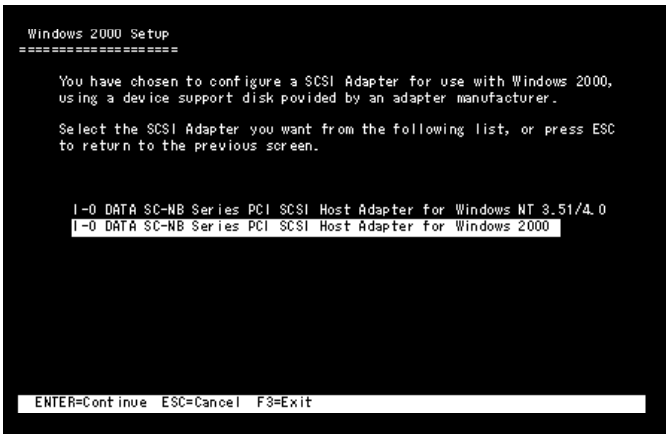

**3** **「Windows2000フロッピーディスク」のディスク1、ディスク2の読込みが完了すると、下記の画面が表示されます。**
**本製品のドライバソフトを読込ませるために、[S]キーを押します。（S=Specify Additional Device）**



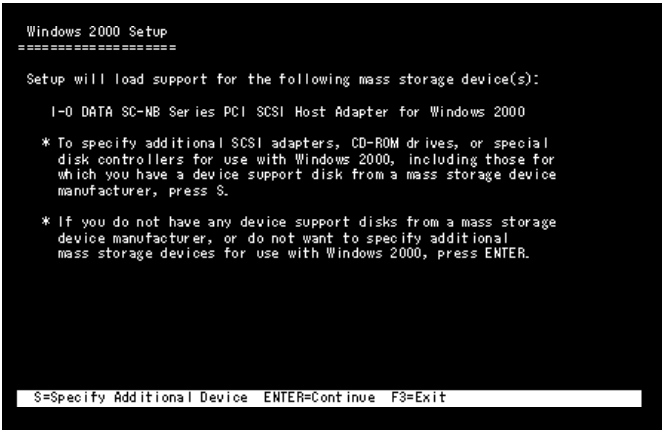
**4** 下記の画面が表示されたら、フロッピーディスクドライブのディスクを「サポートソフト」ディスクと差し替えます。




**5** 下記の画面が表示されたら、[↑][↓]キーで、「I-O DATA SC-NB Series PCI SCSI Host Adapter for Windows2000」を選択し、↵キーを押します。



**6　選択されたドライバの名称が表示されますので、間違いがないことを確認し、セットアップを続行します。**




**後は画面の指示に従って進めてください。**

## Windows98/95/NT4.0上から新規インストールする場合

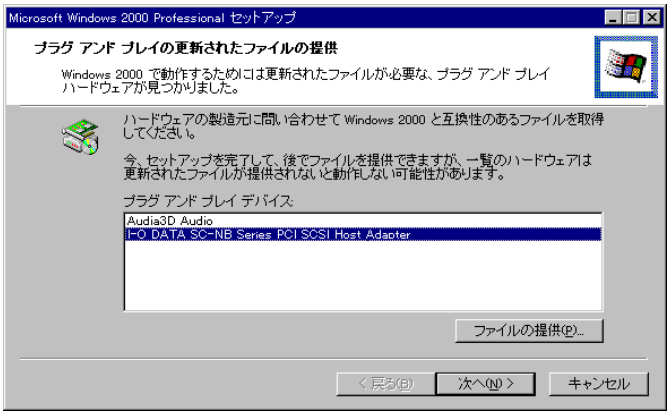
1. Windows98/95またはWindowsNT4.0を起動します。
2. Windows98/95またはWindowsNT4.0で本製品に接続したCD-ROMドライブが使用できるようにします。
3. CD-ROMドライブにWindows2000のCD-ROMをセットします。
4. 画面の指示に従い、[新規インストール]を選択します。

後は画面の指示に従って進めてください。

## Windows98/95からアップグレードインストールする場合

Windows98/95からWindows2000セットアップを実行すると、[プラグアンドプレイの更新されたファイルの提供]と表示され、[プラグアンドプレイデバイス]のリストボックスに[I-O DATA SC-NB Series PCI SCSI Host Adapter]と表示されます。
この状態から下記の作業を行ってください。

**1　「サポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、[ファイルの提供]をクリックします。**




**2　[フォルダの参照]で[3.5インチFD]の[Win2000]フォルダをクリックし、[OK]をクリックします。**

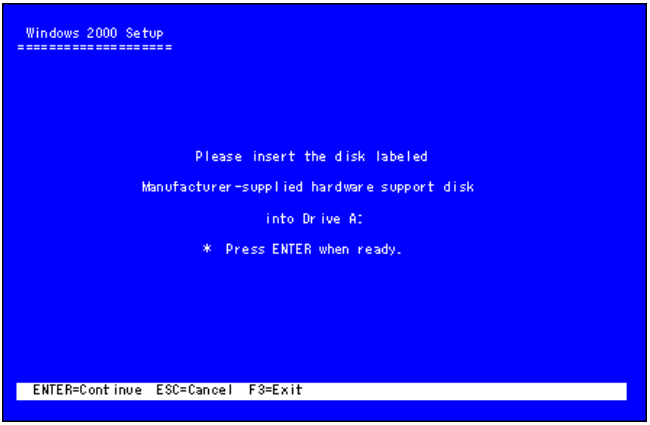


**3** [プラグアンドプレイデバイス]のリストボックスに表示されていた[I-O DATA SC-NB Series PCI SCSI Host Adapter]が削除されたことを確認します。
フロッピーディスクを取り出した後、[次へ]をクリックします。

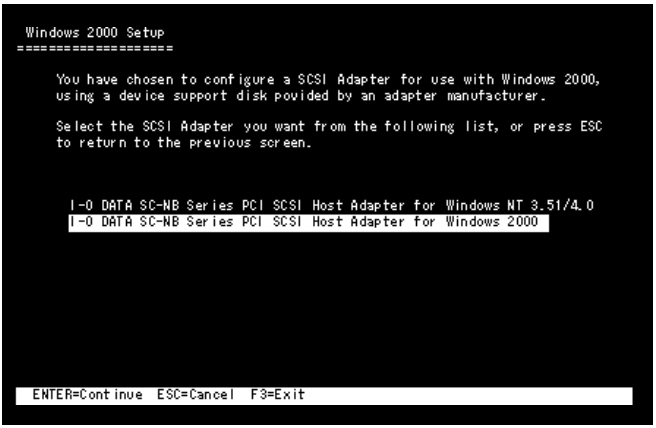
**4** Windows2000のセットアップが続行され、途中でパソコンの再起動が行われます。
再起動後、[Windows2000 Setup]が実行され、デバイスドライバの追加を行う画面が表示されたら、[S]キーを押します。



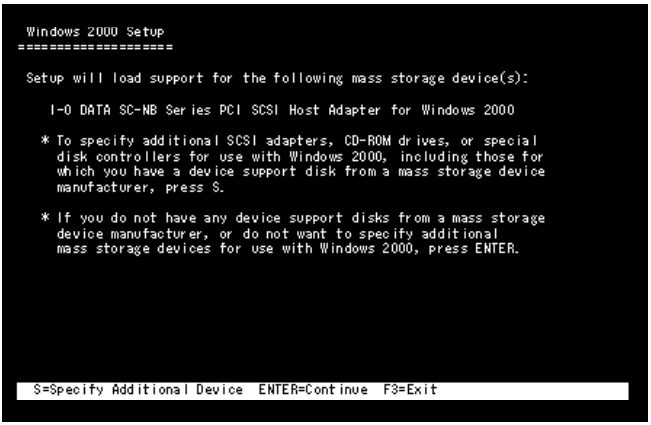
**5** 「サポートソフト」ディスクを挿入し、↵キーを押します。




**6** [I-O DATA SC-NB Series PCI SCSI Host Adapter for Windows2000]を選択し、↵キーを押します。



**7** **[I-O DATA SC-NB Series PCI SCSI Host Adapter for Windows2000]が登録された旨のメッセージが表示されたら↵キーを押します。**




**8** **[Windows2000 Setup]が終了すると、再度パソコンの再起動が行われます。この時「サポートソフト」ディスクを取り出します。**

**9** **[はい]をクリックします。**




**後は、表示されるメッセージに従ってWindows2000のセットアップを続行してください。**

## WindowsNT4.0からアップグレードインストールする場合

WindowsNT 4.0からWindows2000セットアップを実行すると、セットアップウィザードの途中でパソコンの再起動が行われます。
その状態から下記の作業を行ってください。

**注意**

**1) WindowsNT4.0からWindows2000へアップグレードを行う場合、Administrator権限でログインする必要があります。**
**2) 下記手順を行うと、WindowsNT4.0用のドライバは削除されます。**

**1** **WindowsNT4.0を起動します。**
この状態で本製品に接続したCD-ROMドライブが正しく動作できる状態にしておいてください。

**2** **[コントロールパネル]→[SCSIアダプタ]を開き、[ドライバ]タブをクリックします。**

**3** **本製品のドライバを選択し、[削除]をクリックします。**

**4** **[マイコンピュータ]を開きます。**

**5** **[表示]メニューから[フォルダオプション]を選択します。**

**6** **フォルダオプションウィンドウが表示されますので、[表示]タブをクリックします。**

**7** **[詳細設定]の[表示されないファイル]で[すべてのファイルを表示]を選択し、[OK]をクリックします。**

**8** **[スタート]→[検索]→[ファイルやフォルダ]を選択します。**

**9** **検索の画面が表示されますので下記に従って入力後、[サブフォルダも探す]にチェックを付け、 [検索開始]をクリックします。**

| | |
|---|---|
| 名前 | *.inf |
| 含まれる文字 | SCNBD |
| 探す場所 | WindowsNT4.0をインストールしているドライブ名<br>例　C:<br>（WindowsNT4.0をCドライブにインストールしている場合） |

**10** **見つかったファイルを選択して[DEL]キーを押します。**

見つかったファイルが削除されます。

**11** **[マイコンピュータ]から[サポートソフト]ディスク内のWin2000フォルダをダブルクリックします。**

**12** **Uninst16（セットアップ情報ファイル）を右クリックし、メニュー内の[インストール]をクリックして実行します。**

Windows2000のインストールを開始します。

**13** **CD-ROMドライブにWindows2000のCD-ROMをセットします。**

**14** **画面の指示に従い[アップグレードインストール]を選択します。**

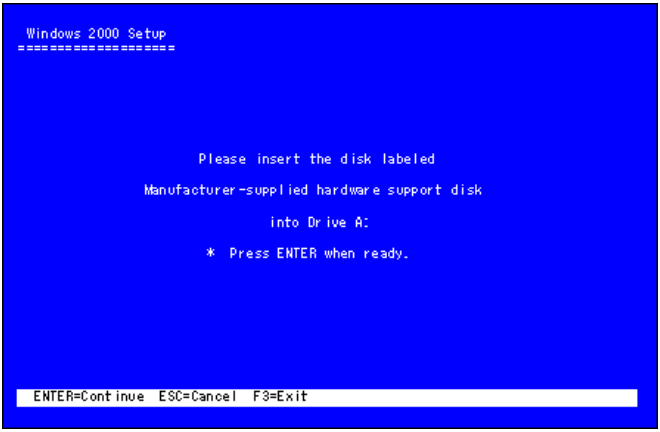
**15** 再起動後、青色の画面に切り替わった段階で[F6] キーを押します。
（F6=Press F6 if you need to install a third party SCSI or RAID driver...）



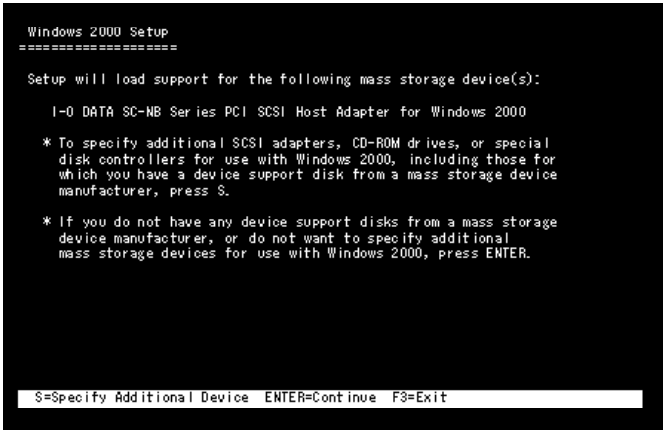

**16** しばらくするとデバイスドライバの追加を行う画面が表示されます。ここで[S]キーを押します。（S=Specify Additional Device）



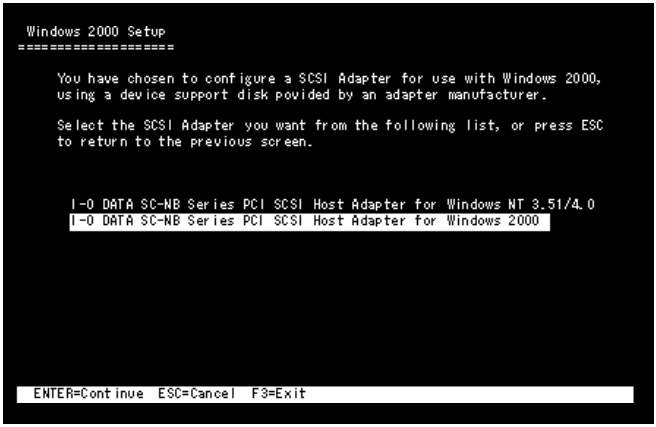
**17** フロッピーディスクを挿入する旨のメッセージが表示されますので、「サポートソフト」ディスクを挿入し、↵キーを押します。




**18** [I-O DATA SC-NB Series PCI SCSI Host Adapter for Windows2000]と表示されますので、↵キーを押します。



**19** [I-O DATA SC-NB Series PCI SCSI Host Adapter for Windows2000]が登録された旨のメッセージが表示されますので、↵キーを押します。




**20** Windows2000テキストセットアップが終了すると、再度パソコンの再起動が行われます。この時「サポートソフト」ディスクを取りだします。

後は表示されるメッセージに従ってWindows2000のセットアップを続行してください。

# 付録4

# ASPIマネージャのインストール
# (Windows2000,WindowsNT4.0)

SCSI機器によっては、利用する際に「ASPIマネージャ」が必要となる場合があります。（詳細は各SCSI機器の取扱説明書参照）

Windows2000およびWindowsNT4.0では、添付の「ASPI接続ビューア」をインストールすることにより「ASPIマネージャ」※がインストールされます。
インストールの詳細は、【SCSI機器が使用できるか確認しよう】(P60)を参照してください。

※ASPIマネージャとは、SCSI機器を各種アプリケーションから使用できるようにするソフトウェアです。

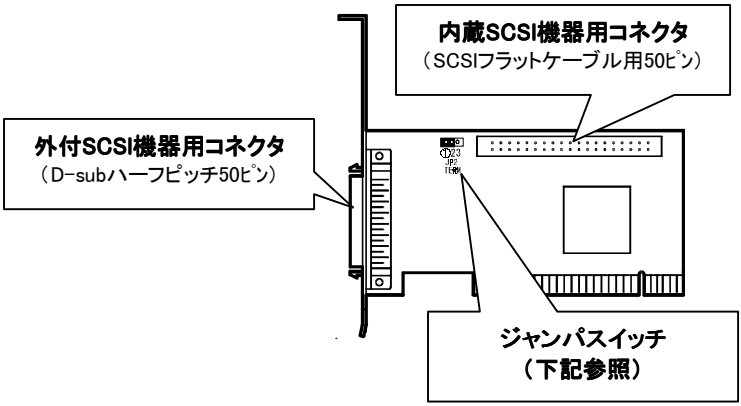
# 付録5

# 仕様

## 仕　様

| | |
|---|---|
| 転送方式 | 32Bit バスマスタ |
| SCSIインターフェイス | Ultra SCSI対応<br>転送速度：最大20MB/Sec（同期転送時の理論値） |
| SCSI-ID | 7　（固定） |
| IRQ（割り込み） | PCIシステムによる自動設定 |
| I/Oアドレス | PCIシステムによる自動設定 |
| 使用温度範囲 | 5℃～55℃ |
| 使用電源電圧 | +5V |
| 消費電流（最大） | +5V・・・300mA(外部へのタームパワーは含まない) |
| サイズ（基板寸法） | 119.9×61.0mm |

## 各部の名称・機能




**ボード上のジャンパスイッチ（JP2）**

**※通常、JP2を出荷時設定から変更する必要はありません。**

・JP2：内蔵ターミネータの制御

1-2ショート ＝ ターミネータの自動制御（出荷時設定）

2-3ショート ＝ 強制OFF

# サポートセンターへのお問い合わせ

弊社サポートセンターへのお問い合わせはユーザー登録された方に限ります。
以下に記入して、お問い合わせのときにお知らせください。
連絡方法については次ページをご覧ください。

**■お知らせいただく事項**

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名と、「サポートソフト」ディスクのシリアルNo.
   (「サポートソフト」ディスクに貼ったVerシールに印刷されています。)
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

## 《連絡方法》

**■オンライン**

**ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ　http://www.iodata.co.jp/support/**
**「サポートセンターお問い合わせ」内のフォームを使用してE-mailをお送りください。**

**@nifty　ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ(SIODATA)サポート会議室**

**■郵便**

**住所　〒920-8513**
**石川県金沢市桜田町2丁目84番地　ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル**
**株式会社アイ・オー・データ機器**
**サポートセンター「SC-NBDシリーズ」係　宛**

**■電話**

**電話番号　本社　076-260-3367**
**東京　03-3254-0340**
**受付時間　9:30～19:00**
**月～金曜日（祝祭日を除く）**

**■FAX**

**FAX番号　本社　076-260-3360**
**東京　03-3254-9055**
**宛先　株式会社アイ・オー・データ機器**
**サポートセンター「SC-NBDシリーズ」係　宛**

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

# サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。なお、当サービスはユーザー登録された方のみが対象です。

**■オンライン**

| | |
|---|---|
| ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ | **http://www.iodata.co.jp/ →「ｻﾎﾟｰﾄ・ﾗｲﾌﾞﾗﾘ」** |
| **@nifty** | **ｱｲ・ｵｰ・ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ（SIODATA）のﾗｲﾌﾞﾗﾘ5（LIB 5）** |

**■サービス窓口からの郵送**

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

**住所　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地　ｱｲ・ｵｰ・ﾃﾞｰﾀ第2ビル**
**株式会社アイ・オー・データ機器**
**「SC-NBDシリーズ」 サービス窓口　宛**

**電話番号　076-263-3663**

**受付時間　9:30～12:00 13:00～17:00 月～金曜日（祝祭日を除く）**

**ご注意**

●オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。
●このサービスへのご質問は、弊社サポートセンターやサービス窓口ではお受けできません。

# オプション品について

以下のケーブルはすべてハイ・インピーダンスタイプです。

《外付Narrow SCSI機器用》

| 型番 | 長さ | タイプ |
|---|---|---|
| A50-A50 | 75cm | SCSIｹｰﾌﾞﾙ（D-subﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ⇔D-subﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ） |
| A50-A50-M | 50cm | 同上 |
| A50-A50-S | 30cm | 同上 |
| A50-A50-SS | 10cm | 同上 |
| A50-H50 | 75cm | SCSIｹｰﾌﾞﾙ（D-subﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ⇔ｱﾝﾌｪﾉｰﾙﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ） |
| A50-H50-S | 30cm | 同上 |
| F50-A50 | 75cm | SCSIｹｰﾌﾞﾙ（ｱﾝﾌｪﾉｰﾙﾌﾙﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ⇔D-subﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ） |
| F50-H50 | 75cm | SCSIｹｰﾌﾞﾙ（ｱﾝﾌｪﾉｰﾙﾌﾙﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ⇔ｱﾝﾌｪﾉｰﾙﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ） |
| TA-A50 | ― | アクティブ・ターミネータ（D-subﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ） |
| TA-H50 | ― | アクティブ・ターミネータ（ｱﾝﾌｪﾉｰﾙﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ） |
| AD-SC/AH | ― | 変換コネクタ(D-subﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ⇔ｱﾝﾌｪﾉｰﾙﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ) |
| AD-SC/HA | ― | 変換コネクタ(ｱﾝﾌｪﾉｰﾙﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ⇔D-subﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ) |

弊社製SCSI接続ケーブル「H50-H50」は使用できません。

《内蔵Narrow SCSI機器用》

| 型番 | 長さ | タイプ |
|---|---|---|
| FL-S50 | 70cm | 50ﾋﾟﾝﾌﾗｯﾄｹｰﾌﾞﾙ |

# 保証について

**◎保証期間**

・保証期間は、弊社製造日より５年間です。

・保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有償修理となります。お送りいただいた製品を検査後、有償となる場合のみ往復ハガキにて修理金額をご案内いたします。修理するか否かを送られてきた往復ハガキにご記入の上、ご返送ください。
また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。

・弊社が販売中止を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

**◎保証範囲**

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

・本製品の使用によって生じた、データの消失および破損。
・本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

# 修理について

**弊社製品の修理につきましては、以下の事項をご確認の上、販売店へご依頼頂くか、または下記修理品送付先までお送りくださいます様、お願い致します。**

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
  また、修理品のデータに関しましては保証いたしかねます。

- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『サポートセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。

- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇電源ONで挿入、抜去、逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合

- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。

- 修理品送付先

**住所　〒920-8513**
**石川県金沢市桜田町2丁目84番地　アイ・オー・データ第２ビル**
**株式会社アイ・オー・データ機器**
**「SC-NBDシリーズ」 修理係　　宛**

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱･ 梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、宅配便または書留郵便小包でのご送付をお願いいたします。

- 修理品納期問い合わせについて

**受付窓口　「SC-NBDシリーズ」 サービス窓口**
**電話番号　本社　076-260-3663**
**受付時間　9:30〜12:00　13:00〜17:00　月〜金曜日（祝祭日を除く）**

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、こちらまでお問い合わせください。